

企業価値向上に向けた取り組みに関するアンケート 集計結果一覧（2025年度版）

企業様向けアンケート

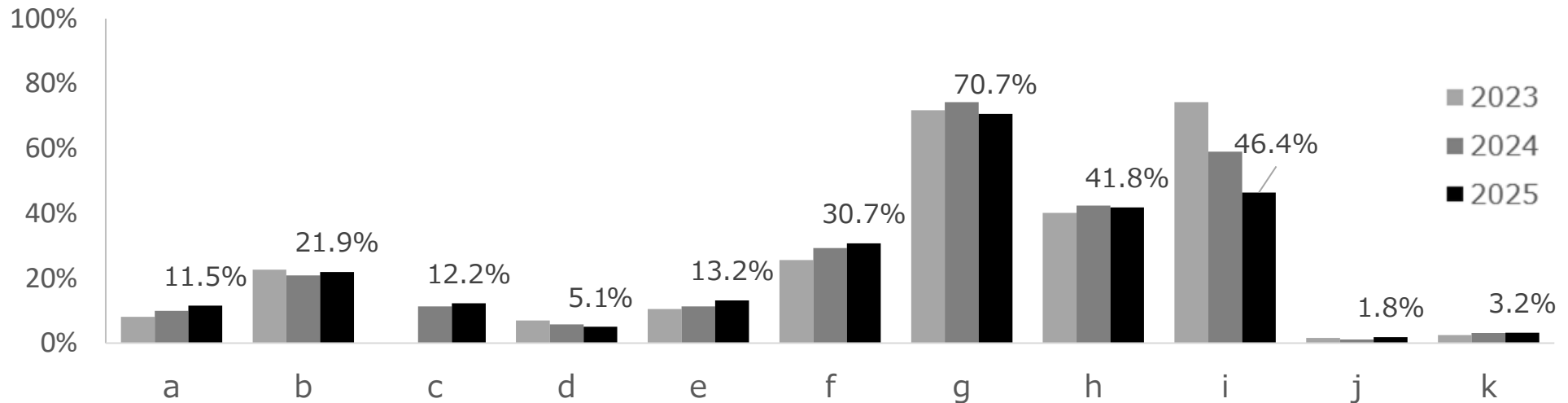
※無回答を除いた有効回答数で算出しております。

※比較の都合上、企業・投資家それぞれのアンケート資料と本資料とでは、
選択肢が異なっている設問があります。

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(1) 持続的な成長と中長期的な株式価値向上の観点から、課題に感じていること、もしくは今後特に取り組みを強化しようとしていることをお答えください。(3つまで選択可)

- a. 機関設計
- b. 取締役会の人数・構成
- c. 取締役の質の向上
- d. 経営陣幹部の選解任手続き
- e. 役員報酬決定体系
- f. 投資家との対話方針
- g. 経営計画・経営戦略
- h. 情報開示
- i. サステナビリティ・SDGsへの取り組み
- j. 特段なし
- k. その他



(回答数:2025年度:433,2024年度:451,2023年度:446)

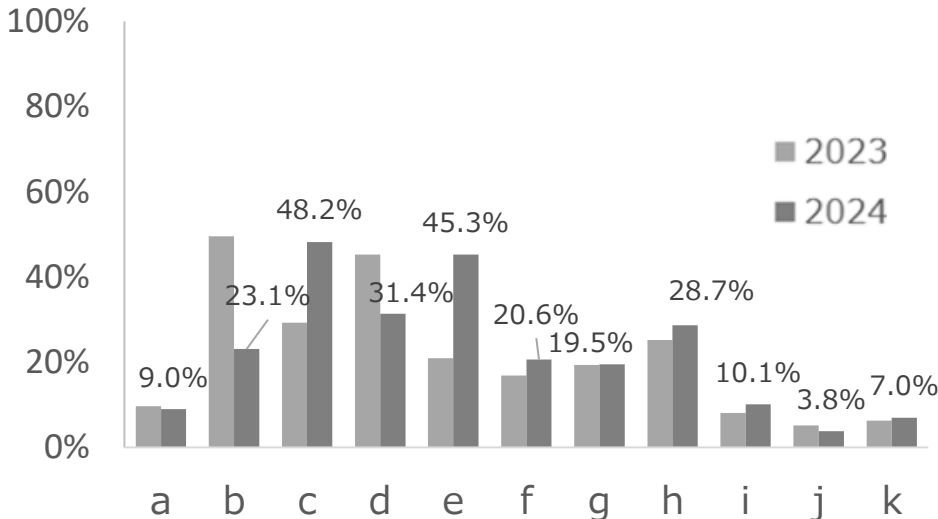
「その他」の回答例：グループ全体の潜在的リスクの把握・管理/グループガバナンス強化/資本コストや株価を意識した経営（資本コストの最適化、成長戦略の具体化、PBR向上など）/事業ポートフォリオとキャピタルアロケーションの進捗モニタリング/経営に影響を及ぼしうるリスクへの対応/将来的な取締役候補者の選定/取締役のサクセッションプランの策定と開示方法/株式報酬のさらなる活用検討および報酬ガバナンス施策の強化/取締役会の運営方法/取締役会の実効性の向上/取締役会におけるより高度な監督機能の発揮/取締役会における充実した議論・迅速な意思決定の実現/グループ全体の視点からのあるべき姿、戦略、人材交流等に関する議論の充実/投資家との具体的対話

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(2) 取締役会の実効性向上に向けて現時点で課題に感じていること、もしくは今後特に取り組みを強化しようとしていることをお答えください。(3つまで選択可)

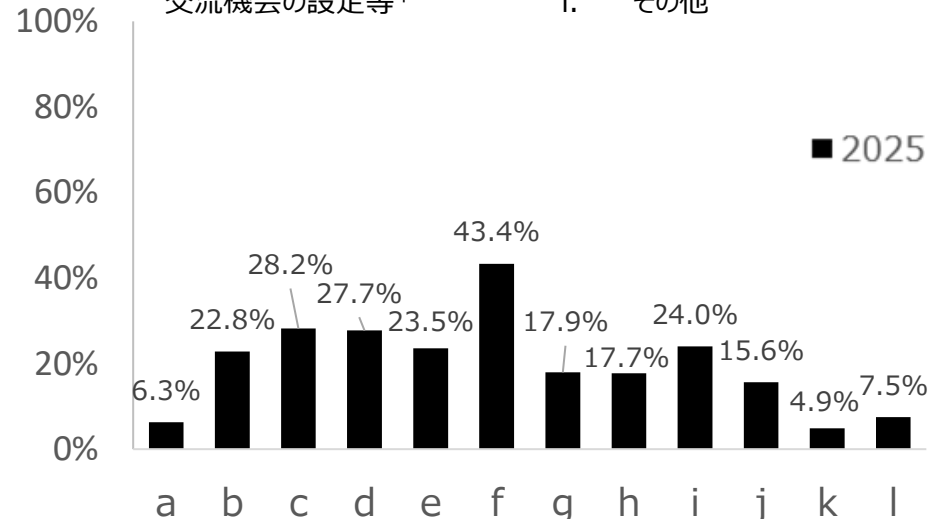
【2023年・2024年度】

- | | |
|---|---------------------------------|
| a. 独立した社外役員の拡充 | e. 上程議案見直し・絞り込みによる重要事項に関する議論の充実 |
| b. 取締役に対するトレーニング | f. 投資家意見の取締役会へのフィードバック |
| c. 取締役会全体の経験や専門性のバランスやジェンダー（女性取締役比率の向上含む）・国際性等の多様性の確保 | g. 取締役会議題の事前説明の充実 |
| d. 社外役員が機能発揮できる環境整備 | h. 取締役会の実効性の評価 |
| | i. 取締役に求めるスキルの組合せ（スキルマトリクス等）の策定 |
| | j. 特段なし |
| | k. その他 |



【2025年度】*2025年度より追加した選択肢

- | | |
|--|---------------------------------|
| a. 独立した社外役員の拡充 | f. 上程議案見直し・絞り込みによる重要事項に関する議論の充実 |
| b. 取締役に対するトレーニング | g. 投資家意見の取締役会へのフィードバック |
| c. 取締役会全体の経験や専門性のバランス* | h. 取締役会議題の事前説明の充実 |
| d. ジェンダー（女性取締役比率の向上含む）・国際性等の多様性の確保* | i. 取締役会の実効性の評価 |
| e. 社内外役員間の情報格差の解消（社外役員の経営会議の傍聴、意見交換会、現場の交流機会の設定等*） | j. 取締役会事務局の組織・体制上の工夫や機能強化* |
| | k. 特段なし |
| | l. その他 |



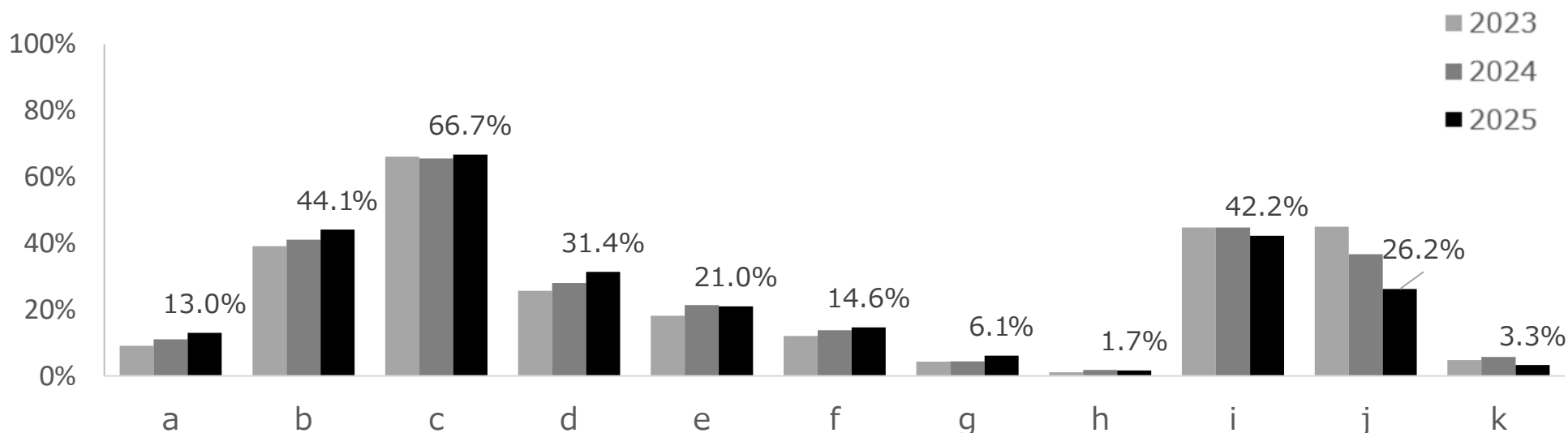
(回答数:2025年度:429,2024年度:446,2023年度:444)

「その他」の回答例：長期事業戦略や大型投資案件等、経営課題に対するモニタリングやフォローの強化/取締役間および取締役・執行役間のコミュニケーションのさらなる充実/オフサイトミーティング等の実施/サクセッションプランの見直し/将来の候補人材の選定/経営戦略や重要な経営課題などの中長期的な視点での議論の充実/取締役向けのITインフラの強化/DX推進/ESGに関する経営課題について更に集中して議論する機会/社外役員が機能発揮できる環境整備/社外役員の評価/内部統制・リスク管理体制の整備/審議事項の適時適切な設定/社外取締役と資本市場との対話の充実

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(3) 取締役会の議題として、今後より重点的に取り上げたいテーマをお答えください。(3つまで選択可)

- a. 決算・業績の進捗・振り返り
- b. 経営目標・指標の適切性
- c. 経営戦略立案
- d. リスク管理
- e. コーポレート・ガバナンス体制
- f. 投資家との対話内容
- g. コンプライアンス関連
- h. 役員報酬
- i. 人的資本経営（人事・人材管理等）
- j. サステナビリティ・SDGsへの取り組み
- k. その他



(回答数:2025年度:424,2024年度:436,2023年度:440)

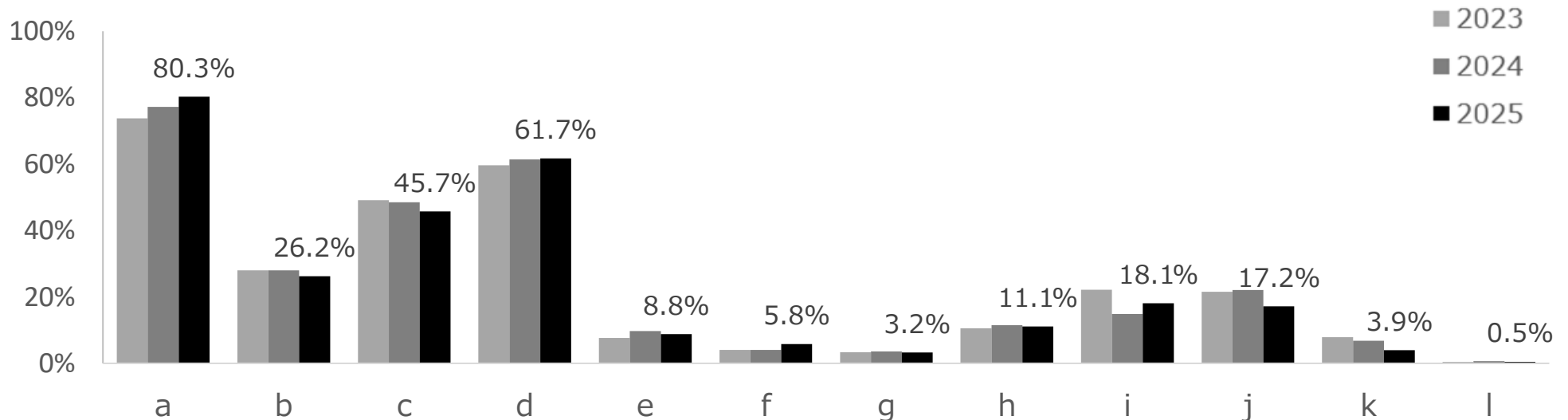
「その他」の回答例：中期経営計画、年度事業計画の進捗報告等/研究開発・新製品開発等/新規事業の創出、専門的な分野での人材育成・確保/DXの活用/取締役会が特定する経営の重要課題/投資のリスクテイクの考え方、方針/社会の環境変化を踏まえた経営戦略の大きな方向性、ガバナンスやリスク等、中長期的視点に立った議論

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(4) 社外取締役に期待している役割の中で特に重要だと感じるものをお答えください。

(3つまで選択可)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| a. 独立した客観的な立場での発言・行動 | h. 少数株主をはじめとするステークホルダーの意見を経営に反映 |
| b. 経営陣の評価（選解任・報酬）への関与・助言 | i. 会計や法律等専門家としての助言 |
| c. 経営執行に対する助言 | j. 多様な観点（ジェンダーや国際性等）からの助言 |
| d. 経営戦略、重要案件等に対する意思決定を通じた監督 | k. サステナビリティに関する助言 |
| e. 不祥事の未然防止に向けた体制の監督 | l. その他 |
| f. 投資家との対話 | |
| g. 利益相反行為の抑止 | |



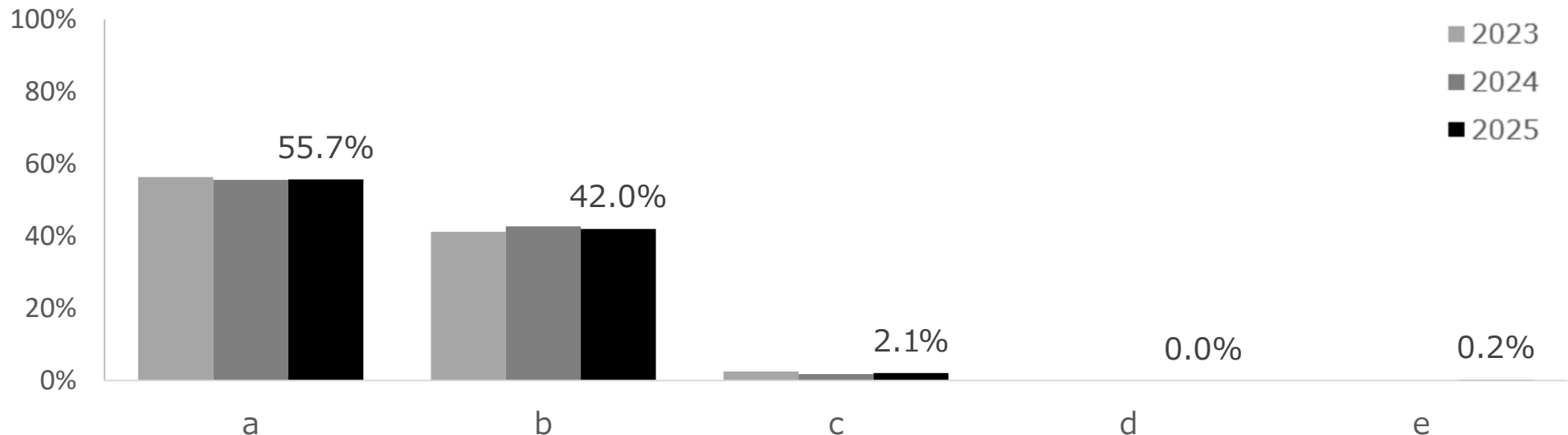
「その他」の回答例：企業価値の向上

(回答数:2025年度:431,2024年度:443,2023年度:446)

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(5) ① 社外取締役を選任している企業にお伺いします。(4) で回答頂いた社外取締役に期待している役割は、現状果たされているとお考えですか。(1つのみ選択可)

- a. 期待どおり十分に果たされている
- b. 一定程度果たされている
- c. 不十分であり、改善の余地がある
- d. 全く果たされていない
- e. その他

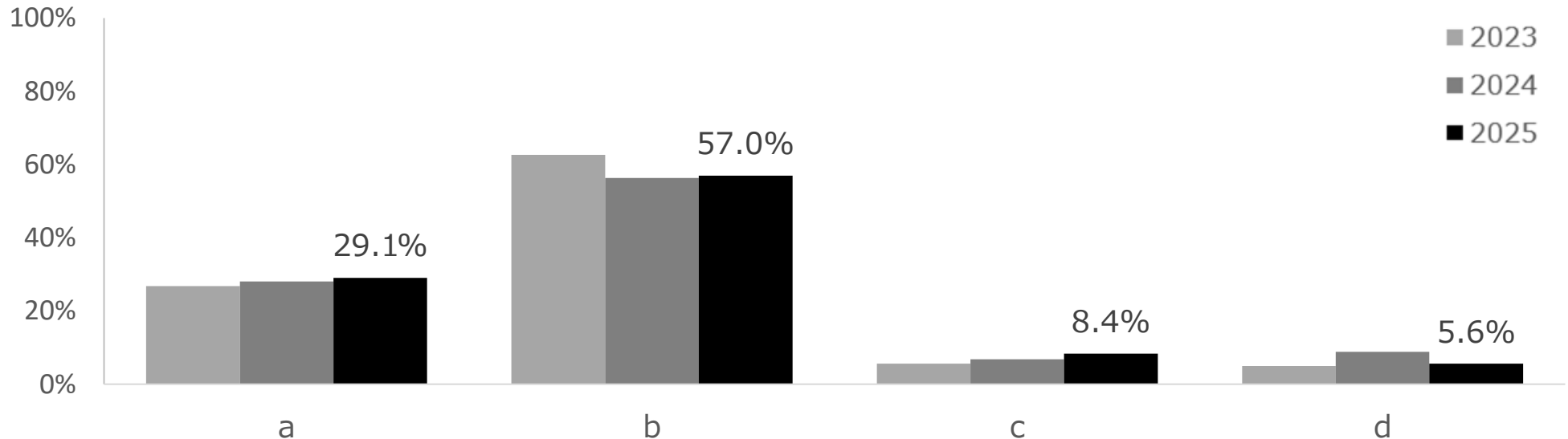


(回答数:2025年度:431,2024年度:443,2023年度:444)

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(5) ② 社外取締役を選任している企業にお伺いします。社外取締役に期待する役割、実績と評価について、投資家に対して開示・説明を行っていますか。(1つのみ選択可)

- a. 十分に実施している
- b. 一定程度実施している
- c. 現状は実施していないが、実施に向けて検討中
- d. 現状実施しておらず、検討もしていない

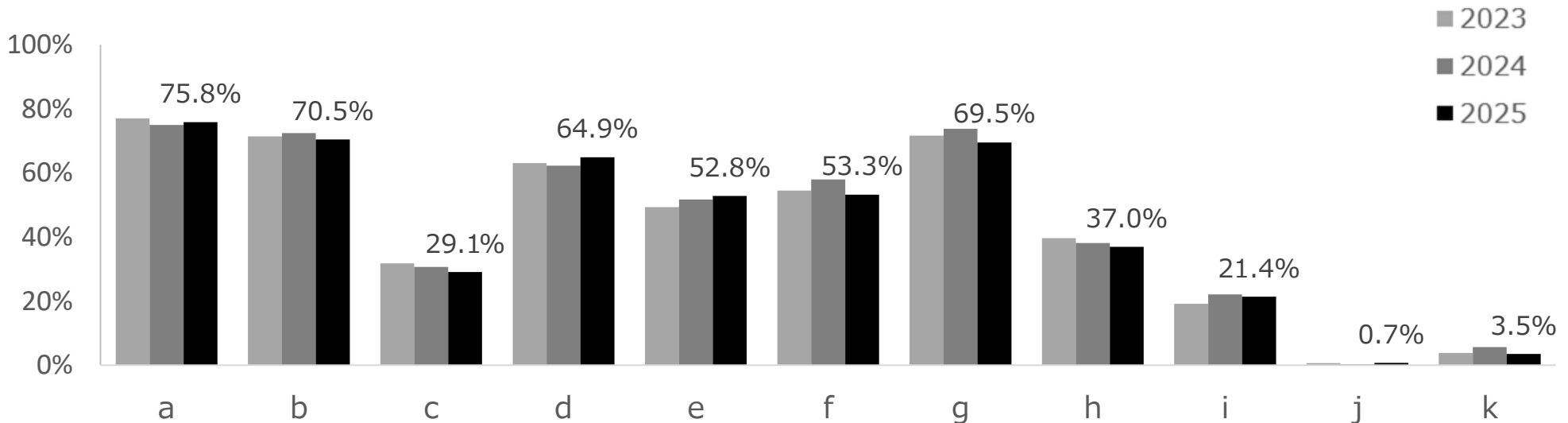


(回答数:2025年度:430,2024年度:442,2023年度:444)

Q1. コーポレート・ガバナンスについてお伺いします。

(6) 社外取締役を選任している企業にお伺いします。社外取締役の機能発揮に向けて実施している取り組みをお答えください。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| a. 社外取締役に対する取締役会議題の事前説明の充実 | g. 指名・報酬等の検討を行う諮問委員会の活用 |
| b. 社外取締役の独立性の確保 | h. 社外取締役の取締役会における比率向上 |
| c. 社外取締役の経営会議・執行役員会議等への出席 | i. 投資家との対話 |
| d. 社外取締役と経営トップ（社長等）との定期的な意見交換会の実施 | j. 特段なし |
| e. 社外取締役同士の定期的な意見交換会の実施 | k. その他 |
| f. 経営理解促進を目的とした取り組みの実施 | |



(回答数:2025年度:430,2024年度:443,2023年度:444)

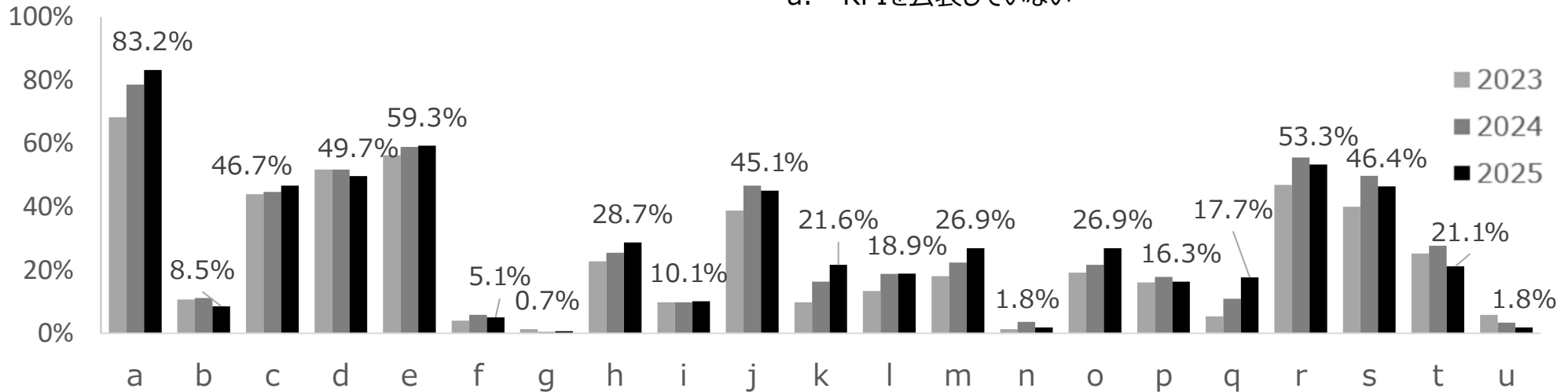
「その他」の回答例：社外取締役と経営トップ以外の社内役員との交流の機会確保/第三者による取締役会の実効性評価/取締役メンバーによる経営課題等に関する勉強会・検討会の実施/全社委員会へのオブザーバー参加/研究発表会や事業場訪問による当社事業等への理解促進/経営会議等の重要会議の議事録の閲覧権を設定

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(1) 中期経営計画において公表している重要な成果指標（KPI）を全てお答えください。

(複数選択可)

- a. ROE（株主資本利益率）
- b. ROA（総資本利益率）
- c. 売上高利益率
- d. 売上高・売上高の伸び率
- e. 利益額・利益の伸び率
- f. 市場占有率（シェア）
- g. 経済付加価値（EVA®）
- h. ROIC（投下資本利益率）
- i. FCF（フリーキャッシュフロー）
- j. 配当性向（配当／当期利益）
- k. 株主資本配当率（DOE）（DOE=ROE×配当性向）
- l. 配当総額または1株当たりの配当額
- m. 総還元性向（(配当+自己株式取得)/当期利益）
- n. 配当利回り（1株あたり配当／株価）
- o. 自己資本比率（自己資本／総資本）
- p. DELシオ（有利子負債／自己資本）
- q. 資本コスト（WACC等）
- r. E(環境)に関する指標(CO2排出量等)
- s. S(社会)に関する指標(女性管理職比率等)
- t. その他
- u. KPIを公表していない



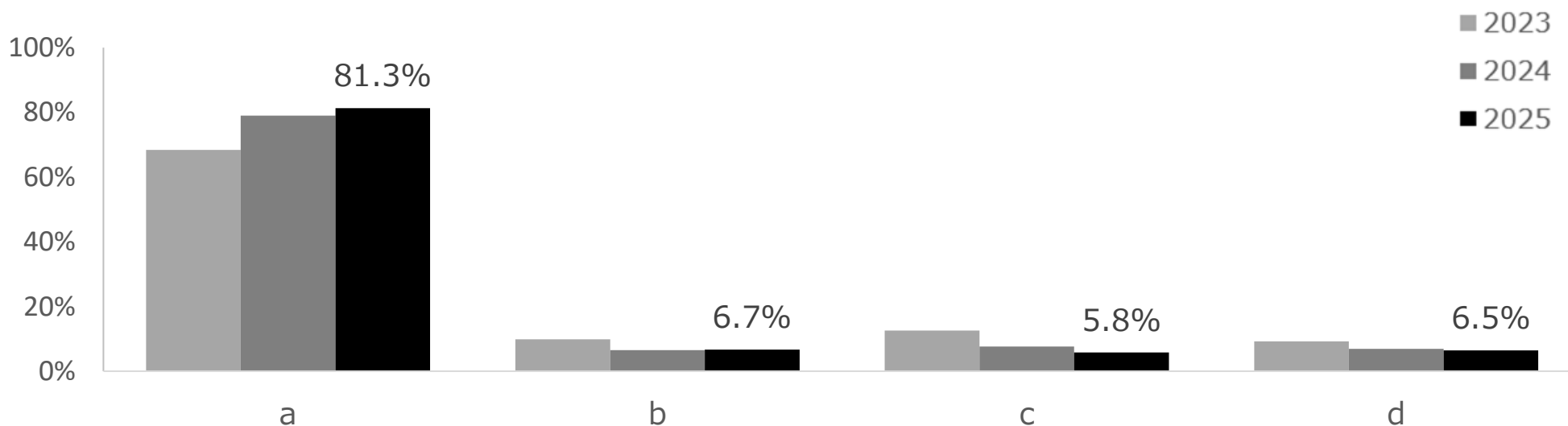
(回答数:2025年度:435,2024年度:448,2023年度:448)

「その他」の回答例：EBITDA/ネット有利子負債/EBITDA倍率/EBITDAマージン/総資産回転率/財務レバレッジ/売上高/海外売上高比率/営業利益/経常利益/当期純利益/PBR/EPS/営業CF/原価率/ステークホルダー対話回数/サステナブルプロダクツの売上比率/従業員エンゲージメントスコア/労働災害度数率/お客さま満足度/OHR/顧客向けサービス業務利益/ROEV/政策保有株式純資産比率

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(2) ① ROEの目標値を設定・公表していますか。設定している場合は目標値の水準をお答えください。
(1つのみ選択可)

- a. 目標値を設定して、公表している
- b. 目標値は設定しているが、公表していない
- c. 目標値は設定していないが、設定の検討をしている
- d. 目標値は設定しておらず、設定の検討もしていない



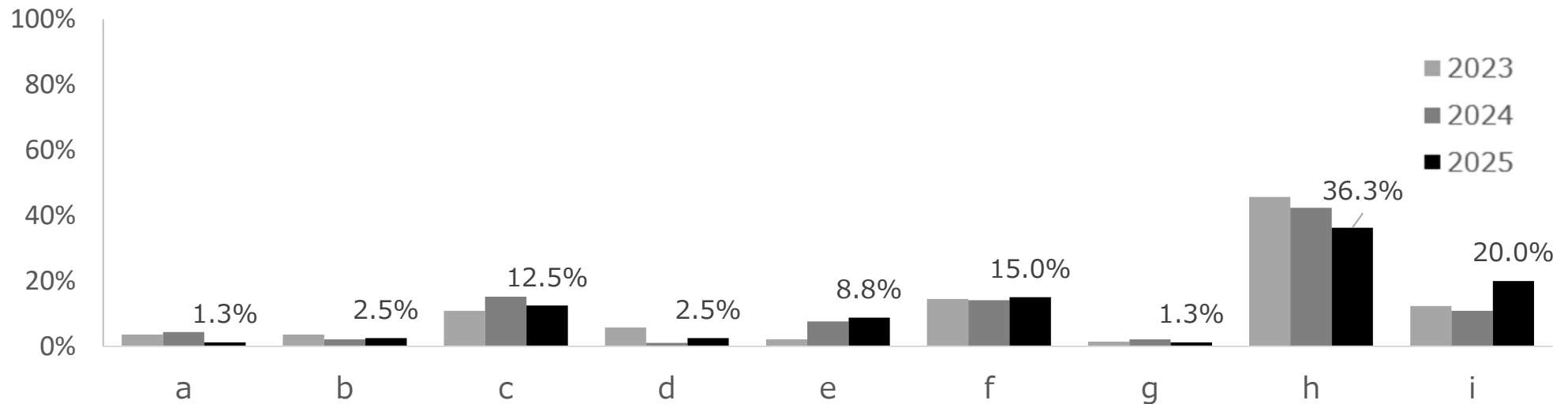
(回答数:2025年度:434,2024年度:447,2023年度:446)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(2) ② ROEの目標値を公表していない、または設定していない場合は、その理由をお答えください。

(1つのみ選択可)

- a. 重要な指標と考えていない
- b. 特別損益の影響で振れ幅が大きい
- c. 今後の事業環境の見通しや会社戦略の確度が低い等の理由で設定が困難
- d. 現行水準が低く、目標設定意義が薄い
- e. 財務体質の改善を優先している
- f. 利益の絶対額を重視している
- g. 利益よりもキャッシュフローを重視している
- h. ROE以外の指標を設定している
- i. その他



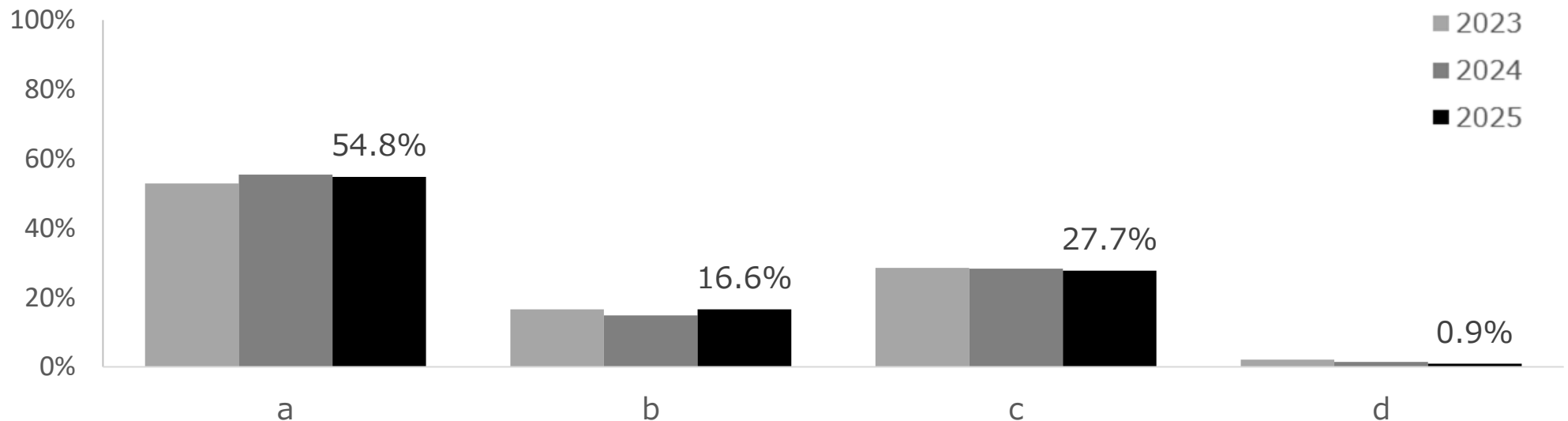
(回答数:2025年度:80,2024年度:92,2023年度:138)

「その他」の回答例：現行水準が高く、目的設定意識が薄い/次回の中計において公表することを検討/ROEを主要KPIとして明確な位置づけにできていない、開示についての態勢が整っていない/中長期視点で戦略展開が必要であり、かつ、市況の影響を受けやすい事業特性から各年度別のROE指標はなじまない/事業構造の変革に取り組んでいる途上の為

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(3) ① 自社のROE水準は、資本コスト（株主の要求収益率）を上回っていると思われますか。
(1つのみ選択可)

- a. 上回っている
- b. 同程度
- c. 下回っている
- d. 資本コストを把握していない

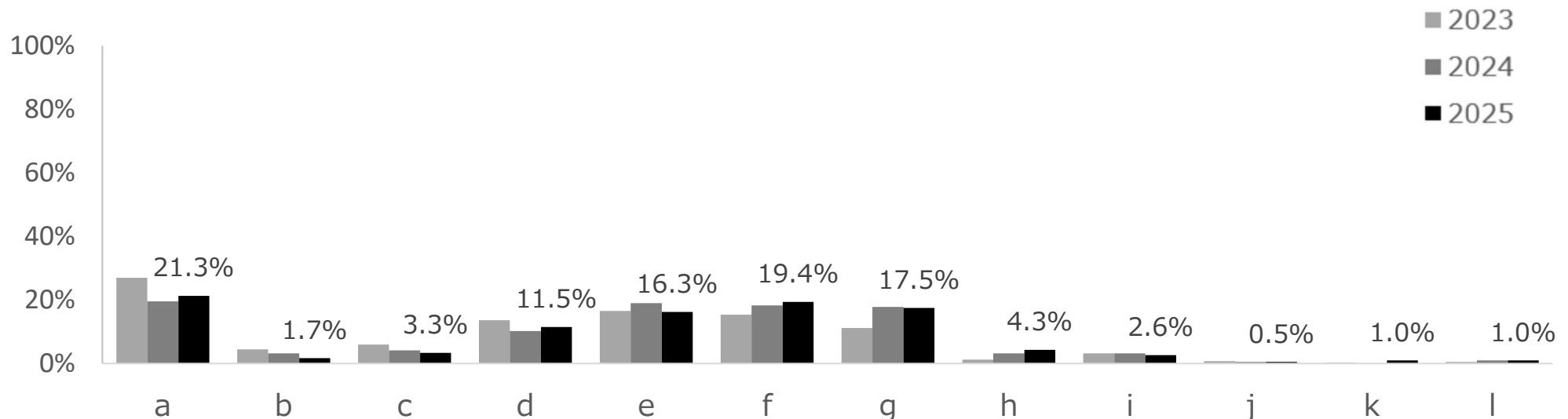


(回答数:2025年度:429,2024年度:431,2023年度:435)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(3) ② (3) でa・b・cを選択された企業にお伺いします。詳細な資本コスト（株主の要求収益率）の数値を算出していますか。算出している場合は、その結果は何%ですか。（1つのみ選択可）

- | | | |
|-------------------|--------|----------|
| a. 詳細数値までは算出していない | e. 6%台 | i. 10%台 |
| b. 4%未満 | f. 7%台 | j. 11%台 |
| c. 4%台 | g. 8%台 | k. 12%台 |
| d. 5%台 | h. 9%台 | l. 13%以上 |

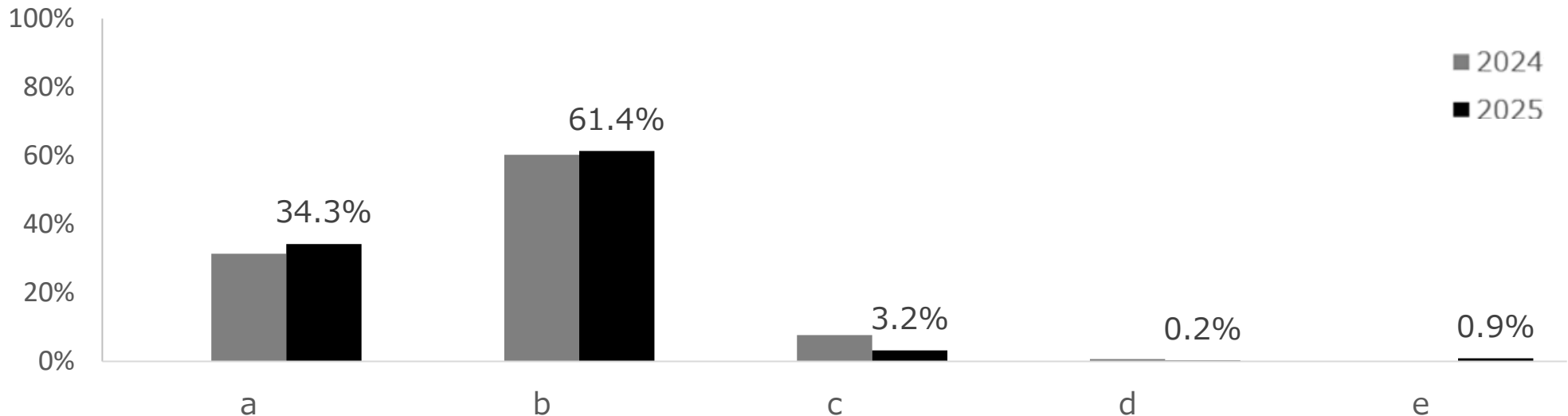


(回答数:2025年度:418,2024年度:410,2023年度:404)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(4) 東京証券取引所の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応等に関するお願い」
に対応をしていますか。(1つのみ選択可)

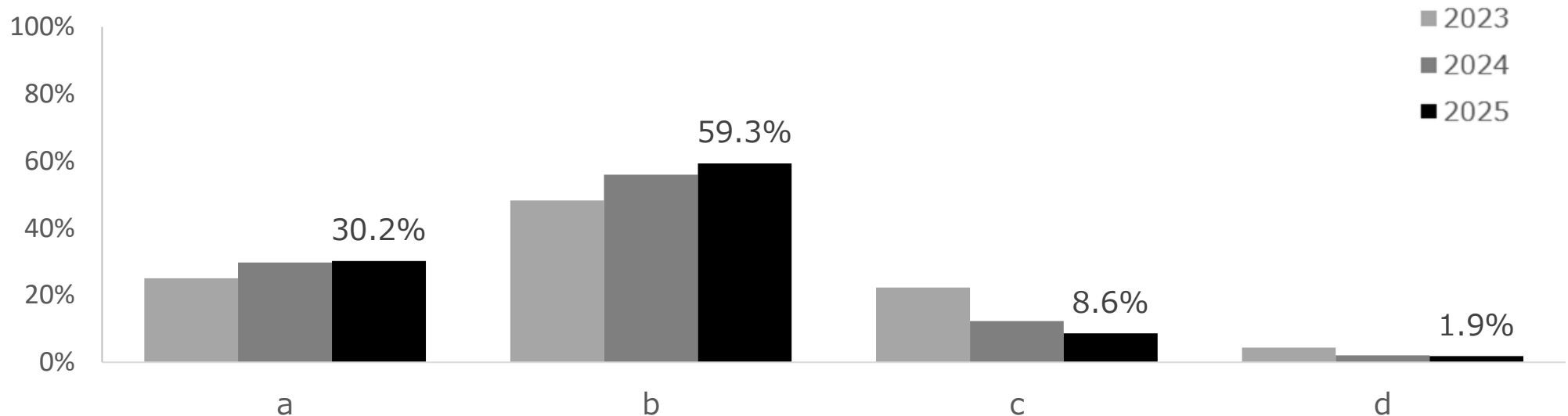
- a. 十分に対応している
- b. 一定程度対応している
- c. 現状は対応していないが、対応に向けて検討中
- d. 現状対応しておらず、検討もしていない
- e. その他



Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(5) 資本コスト（株主の要求収益率等）や資本収益性（ROE等）を的確に把握し、その内容や市場評価に関して取締役会等で現状を分析・評価していますか。（1つのみ選択可）

- a. 十分に実施している
- b. 一定程度実施している
- c. 現状は実施していないが、実施に向けて検討中
- d. 現状実施しておらず、検討もしていない

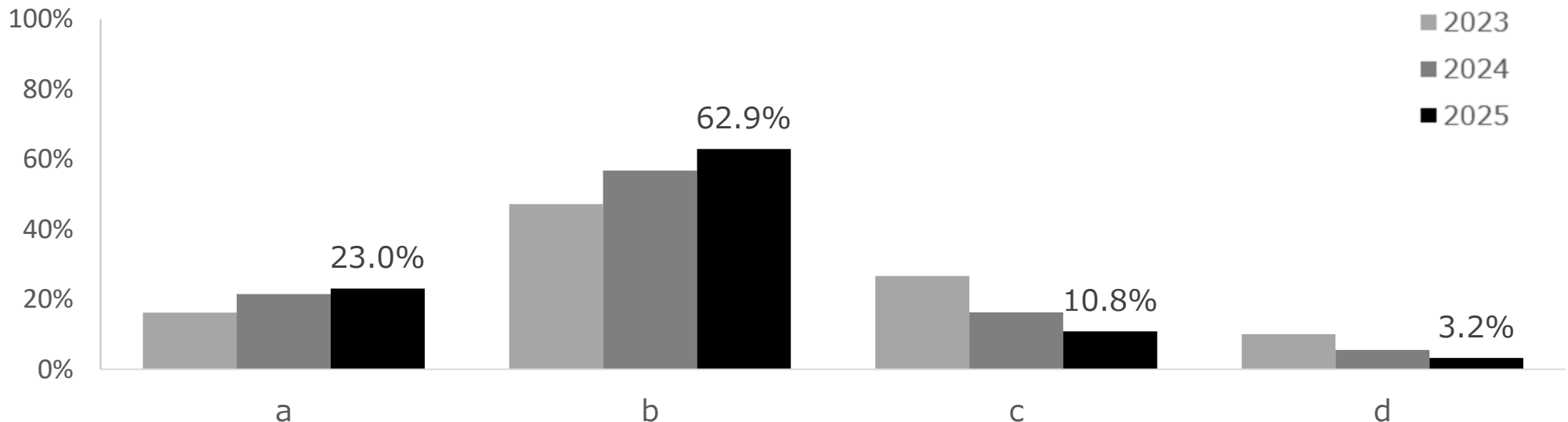


(回答数:2025年度:430,2024年度:440,2023年度:435)

Q2. 経営計画及び経営目標についてお伺いします。

(6) 資本収益性や市場評価に関する分析・評価、また、改善の必要がある場合は改善に向けた方針や具体的な目標、取り組み等について開示・説明していますか。(1つのみ選択可)

- a. 十分行っている
- b. 一定程度行っている
- c. あまり行っていない
- d. ほとんど行っていない



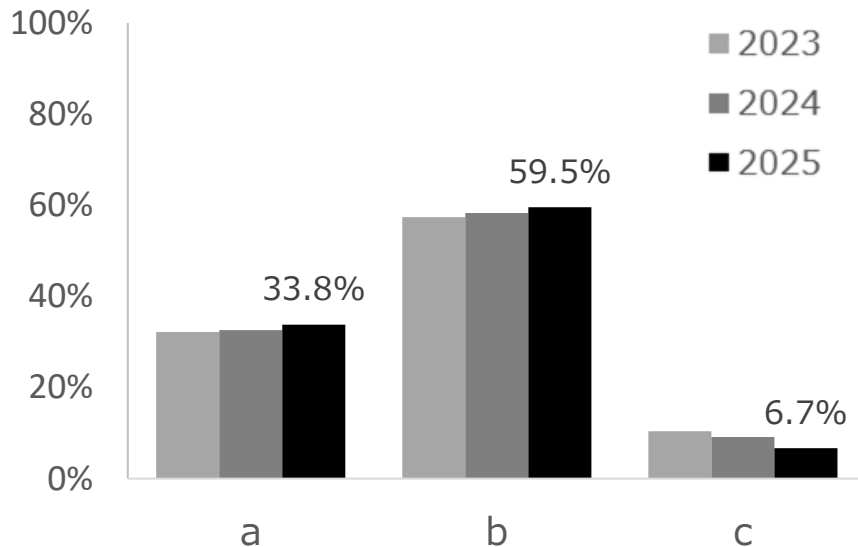
(回答数:2025年度:434,2024年度:437,2023年度:439)

Q3. 内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

(1) 現在の自社の①自己資本、②手元資金の水準について、どのような認識をお持ちですか。
(1つのみ選択可)

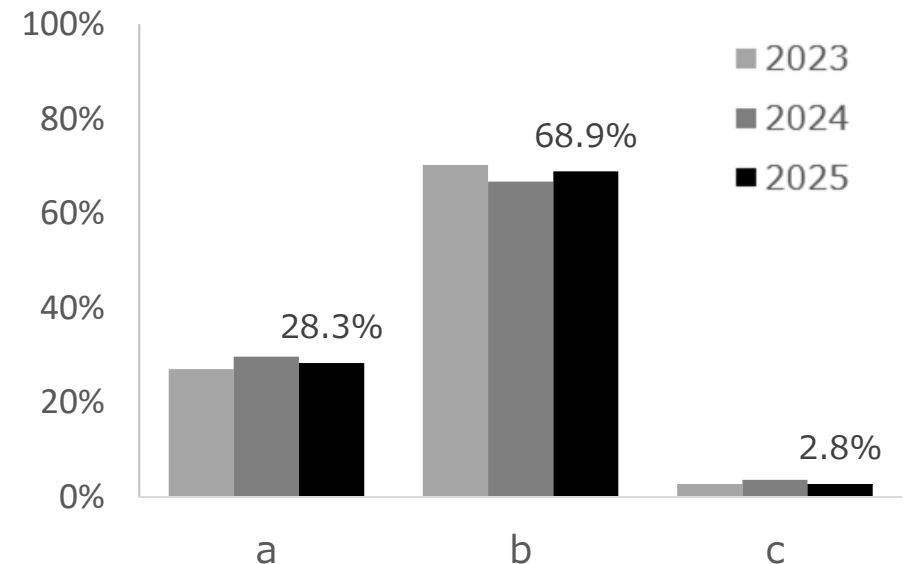
- a. 余裕のある水準と考えている
- b. 適正と考えている
- c. 不足している

【自己資本】



(回答数:2025年度:435,2024年度:439,2023年度:441)

【手元資金】

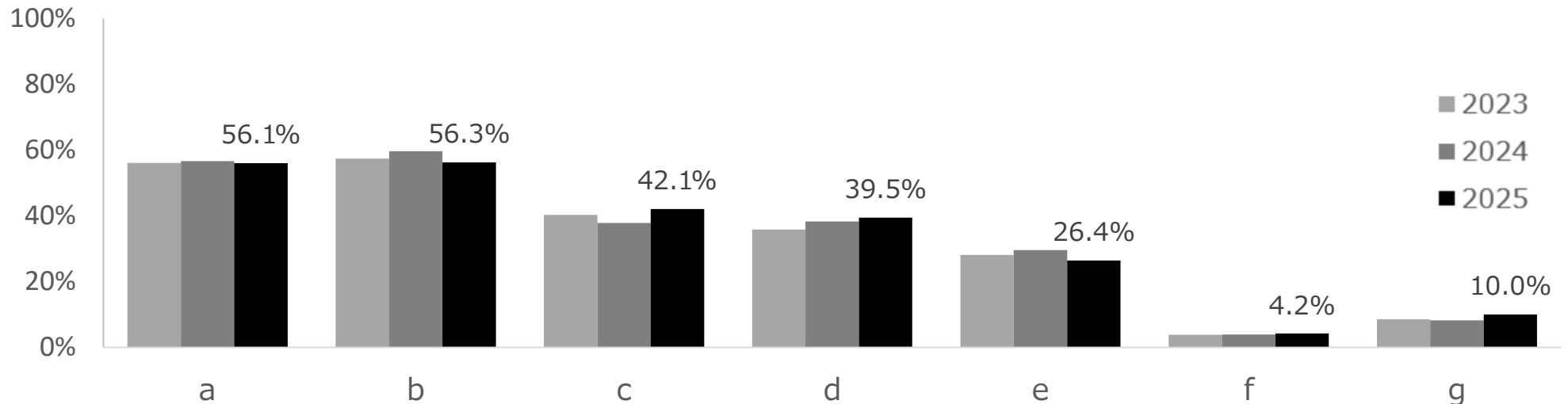


(回答数:2025年度:434,2024年度:438,2023年度:440)

Q3.内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

(2) 投資の意思決定の判断基準として重視されている指標をお答えください。(3つまで選択可)

- a. 売上・利益の増加額
- b. 事業投資資金の回収期間
- c. 投下資本利益率 (R O I C)
- d. 内部収益率 (I R R)
- e. 正味現在価値 (N P V)
- f. 判断基準は特に設定していない
- g. その他



(回答数:2025年度:428,2024年度:436,2023年度:444)

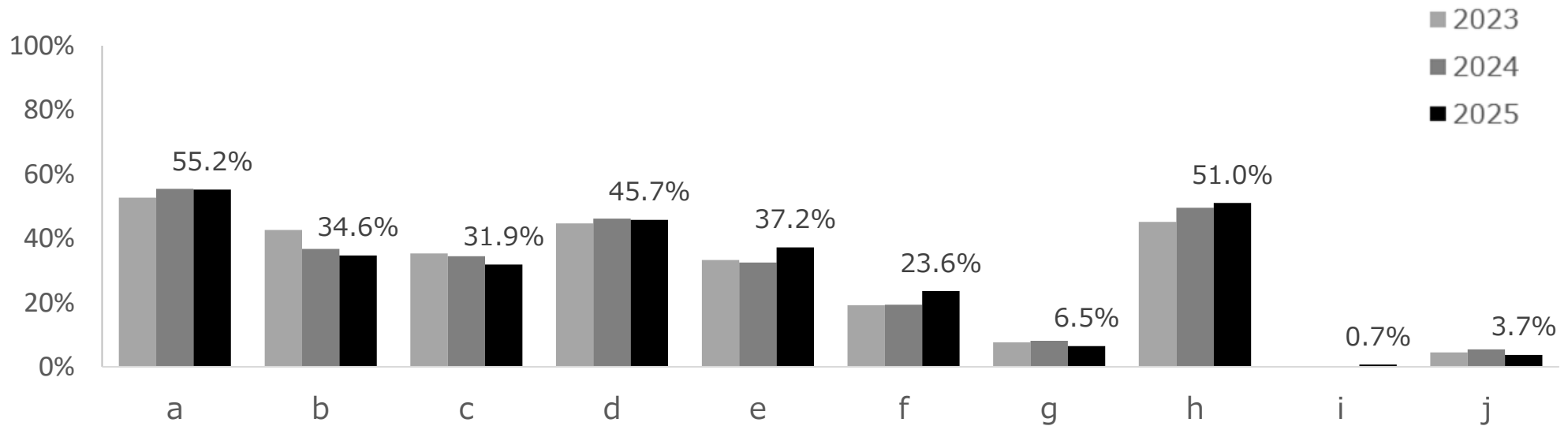
「その他」の回答例：定性効果も含めて総合的に判断/経営戦略との整合性/投資案件における利益率/既存事業・技術とのシナジー効果/財務への影響/EBITDA/EVA/対象国の各種リスク/技術力の向上/経営指標である包括資本への影響度/経過年数/投資する事業毎に投資の意思決定の判断基準として重視している指標は異なる/非公表/平均営業利益額/投資額が当社WACCを上回ること/顧客各社からの受注見込み、市場成長予測データ/RORA (リスクアセット利益率) /ROI/投資リターン倍率 = 事業分野のアウトプット (粗利) /事業分野のインプット (事業コスト) /内部炭素価格/ROA/Cap Rate

Q3.内部留保・手元資金・投資についてお伺いします。

(3) 自社の中長期的な投資・財務戦略において、重視しているものをお答えください。

(3つまで選択可)

- a. 設備投資
- b. IT投資 (DX対応・デジタル化)
- c. 研究開発投資
- d. 人材投資
- e. M & A
- f. 資本構成の最適化
- g. 有利子負債の返済
- h. 株主還元
- i. 特に決まっていない
- j. その他



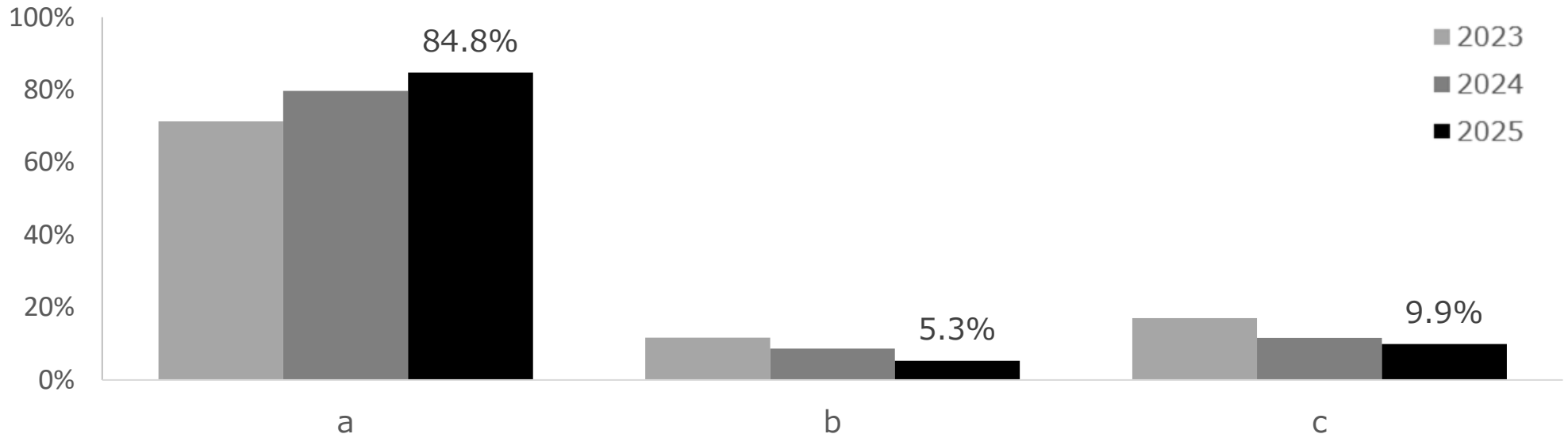
(回答数:2025年度:433,2024年度:444,2023年度:448)

「その他」の回答例：投資の前提として、資本の「健全性」「成長投資」「株主還元」のバランスを考慮/マーケティング/政策保有株式の縮減を中心とした保有資産の最適化/サプライチェーン強化/効率的な資本管理、企業価値向上に資する成長投資/M&A・人材投資含む成長投資/自己資本比率/JV、事業開発、事業買収

Q4.株主還元についてお伺いします。

(1) 株主還元に関して、配当性向、株主資本配当率（DOE）、総還元性向等の目標値を設定・公表していますか。（1つのみ選択可）

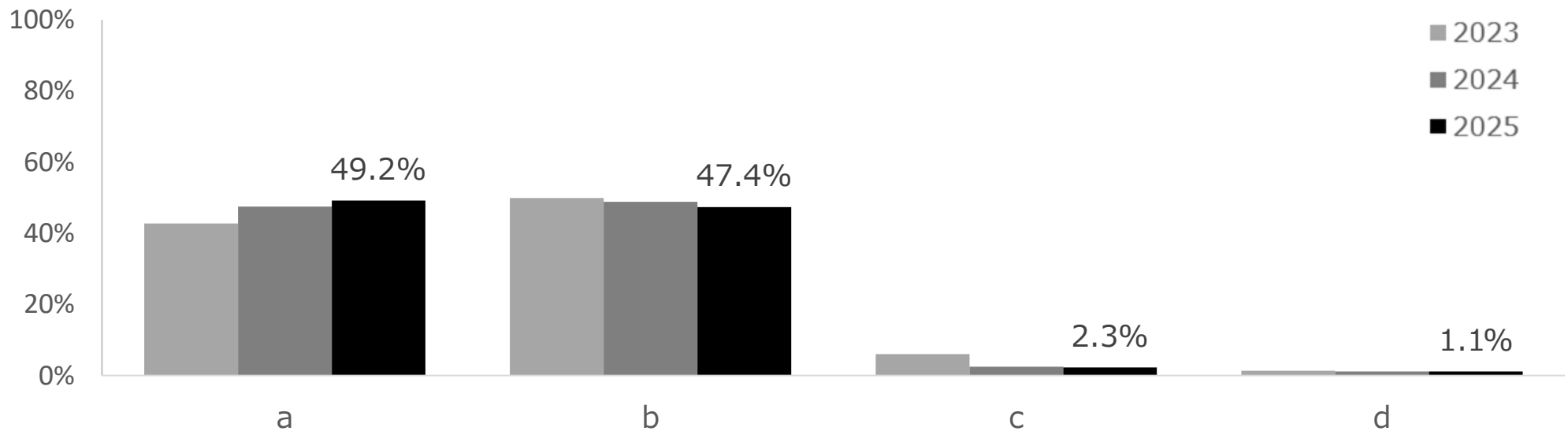
- a. 目標値を設定して、公表している
- b. 目標値は設定しているが、公表していない
- c. 目標値を設定していない



Q4.株主還元についてお伺いします。

(2) 株主還元・配当政策に関して、資本効率や内部留保・投資の必要性の観点から投資家に対して説明を行っていますか。(1つのみ選択可)

- a. 十分行っている
- b. 一定程度行っている
- c. あまり行っていない
- d. ほとんど行っていない



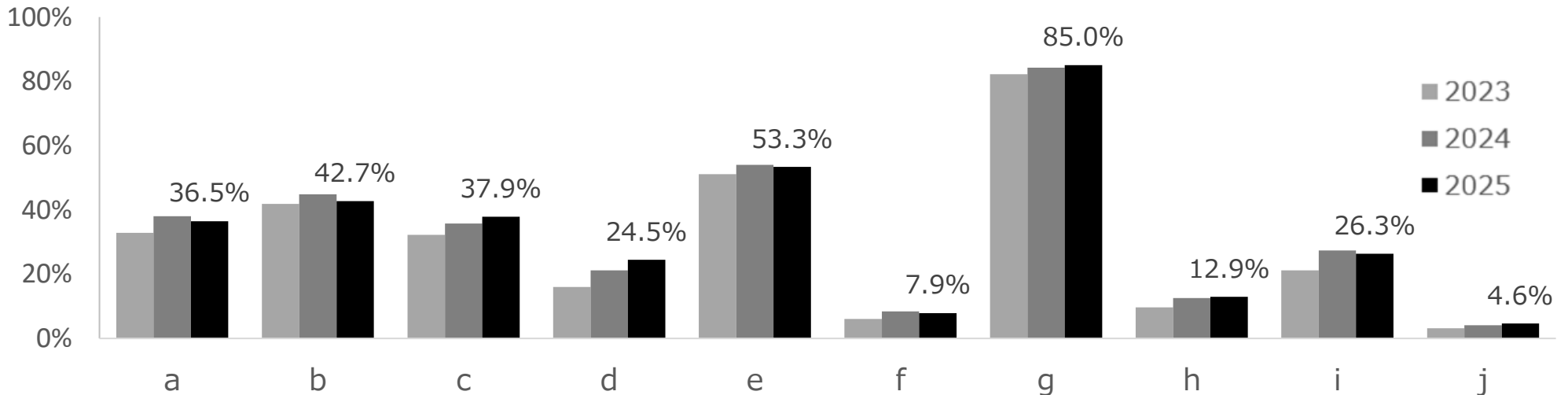
(回答数:2025年度:435,2024年度:440,2023年度:447)

Q4.株主還元についてお伺いします。

(3) 株主還元・配当政策についてどのような観点から投資家に対して説明しているかお答えください。

(複数選択可)

- a. 投資機会の有無
- b. 財務健全性・信用力の水準
- c. 企業の成長ステージ
- d. 資本構成
- e. 総還元性向・配当性向の絶対水準
- f. 同業他社比の総還元性向・配当性向の相対水準
- g. 株主還元・配当の安定性
- h. 株価推移
- i. ROEの水準
- j. その他



(回答数:2025年度:433,2024年度:439,2023年度:444)

「その他」の回答例：健全性、成長投資、株主還元のバランス/インカムゲイン・キャピタルゲイン・コミュニケーションの3つの視点で総還元を意識/自己株式の取得・消却/株主資本コスト/累進配当政策/資本効率の更なる向上に向けて、株主還元を強化し、企業価値向上を目指す/余剰資本の活用方針/株主還元（自己株式取得を含む）と成長投資のバランス/DOE/株主への利益還元を重視しつつ、成長投資や財務健全性とのバランスを取る事/中計期間におけるキャッシュフローの観点からの配当の考え方

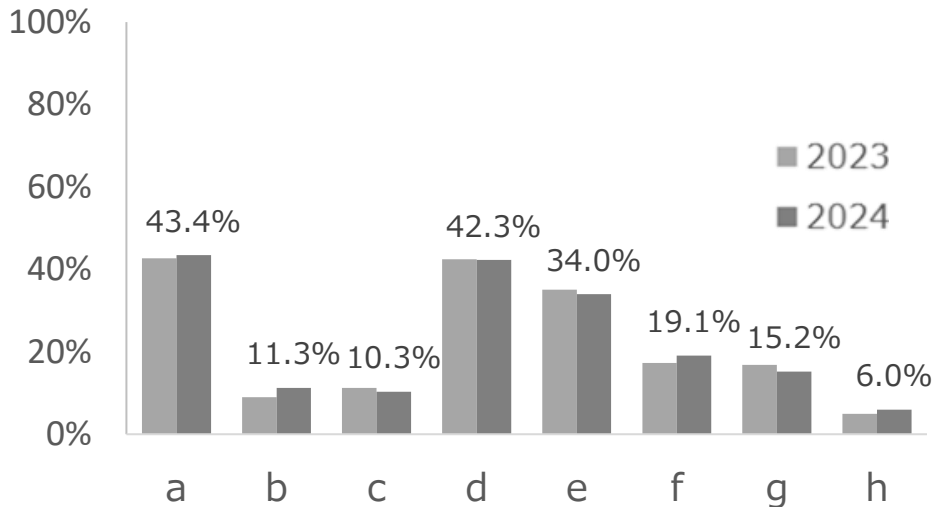
Q5.投資家との対話についてお伺いします。

(1) 投資家との対話に際し、自社の体制や取組において感じている課題についてお答えください。

(3つまで選択可)

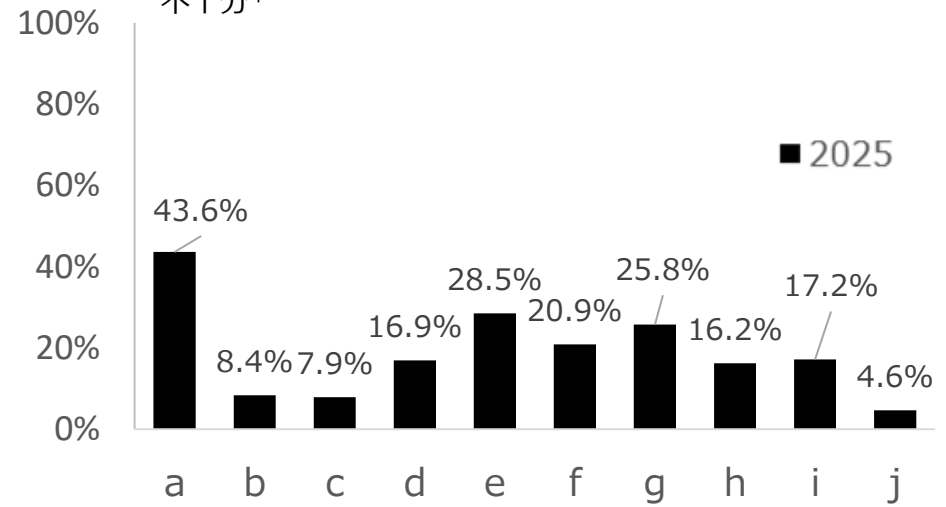
【2023年・2024年度】

- | | |
|--|--------------------|
| a. 対話に割けるリソース・人材が不足 | e. 対話担当者のスキル・知識の向上 |
| b. 経営トップをはじめとする経営層が対話に関与できていない | f. 対話担当者のスキル・知識の向上 |
| c. 対話内容の経営層での共有化が不足 | g. 特段なし |
| d. 対話の材料となる情報（対話内容を踏まえた改善方針・計画等を含む）の開示が不十分 | h. その他 |



【2025年度】 *2025年度より追加した選択肢

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| a. 対話に割けるリソース・人材が不足 | f. 対話内容を踏まえた改善方針・計画等の説明・開示が不十分 |
| b. 経営トップをはじめとする経営層が対話に関与できていない | g. 対話担当者のスキル・知識の向上 |
| c. 対話内容の経営層での共有化が不足 | h. 投資家の対話や議決権方針への理解度向上 |
| d. 経営層内で共有した対話内容を経営に活用する仕組みが不十分* | i. 特段なし |
| e. 対話の材料となる情報の開示が不十分* | j. その他 |



(回答数:2025年度:431,2024年度:435,2023年度:445)

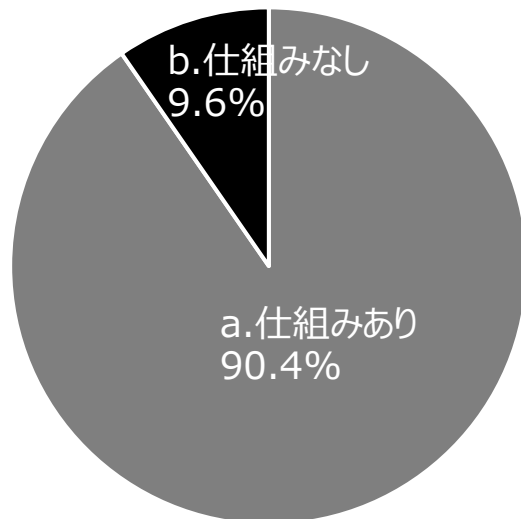
「その他」の回答例：目標とする株主ポートフォリオの実現/中長期的な成長戦略についての理解促進/カバレッジアナリストが少ない/より能動的な投資家ターゲティングによる対話/英語(外国語)での対話対応/対話の十分な時間の確保/対話する投資家が少ない/投資家に関する理解深化/効果的なエクイティストーリーの打ち出し/IR部門、対話人材の育成/効率的な初回プレゼンテーションの実施/非財務情報の適切な開示と、最適な対話手法の継続的な模索/サステナビリティ関連情報の開示範囲拡大、SSBJ等の制度開示への対応に伴う負荷増加/社外取締役と機関投資家との対話継続のための体制・仕組み・リソースの確保

Q5.投資家との対話についてお伺いします。

(2) ① 対話内容を経営層で共有化する仕組みがありますか。(1つのみ選択可)

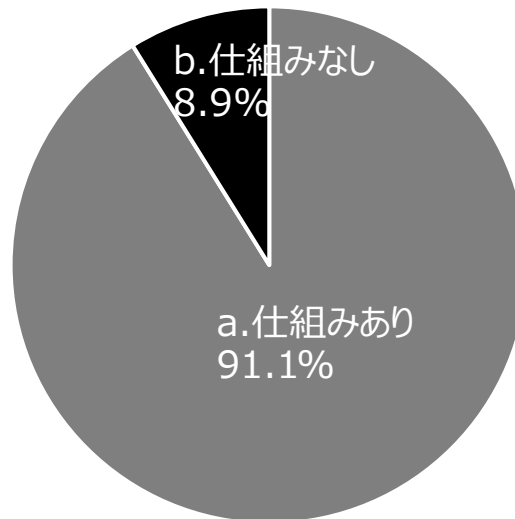
- a. 対話内容を経営層で共有化する仕組みがある
- b. 対話内容を経営層で共有化する仕組みはない

2023年度



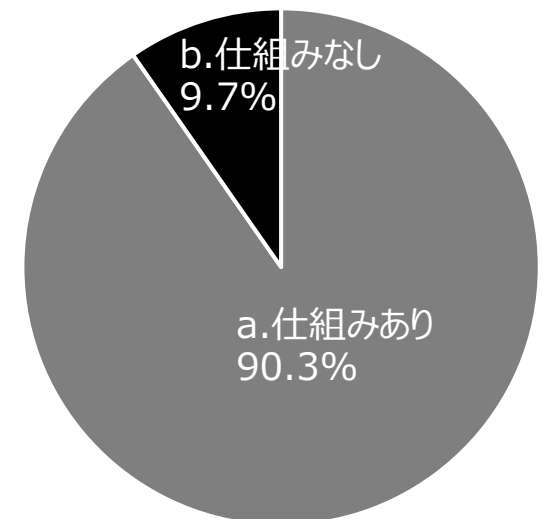
(回答数:2023年度:446)

2024年度



(回答数:2024年度:440)

2025年度



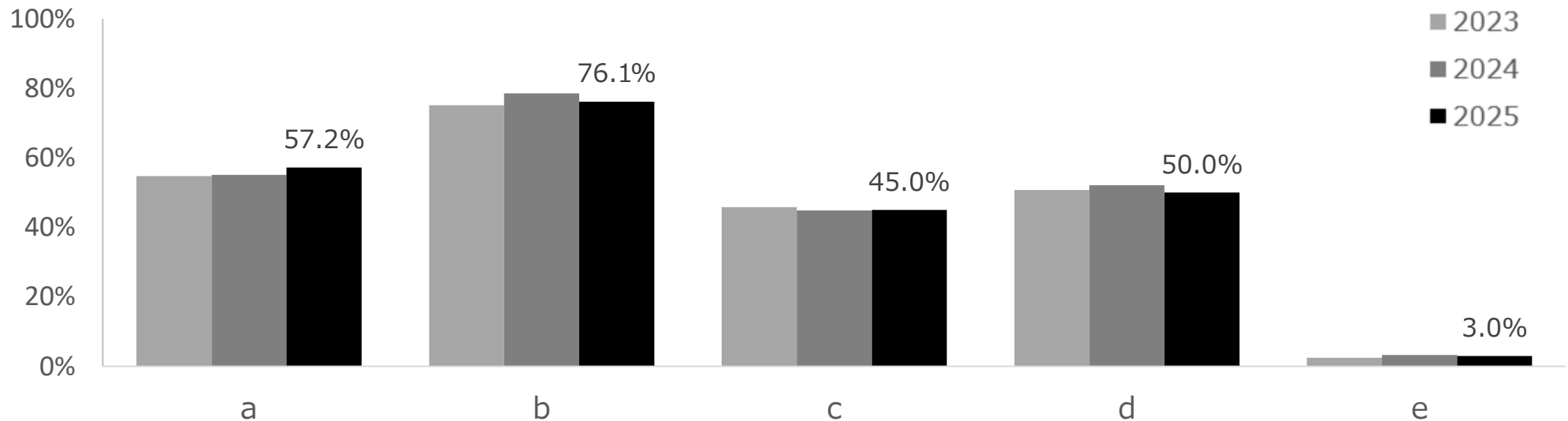
(回答数:2025年度:433)

Q5.投資家との対話についてお伺いします。

(2) ② (2)-①で「a.対話内容を経営層で共有化する仕組みがある」と回答された企業にお伺いします。

仕組みがある場合は、どのような体制を整備しているかお答えください。(複数選択可)

- a. 定期的に経営陣が投資家と対話を行い、経営陣内で共有化している
- b. 取締役会や経営会議で報告する機会を設けている
- c. 経営トップに直接定期的に報告する機会を設けている
- d. レポート形式にして定期的に経営陣へ送付している
- e. その他



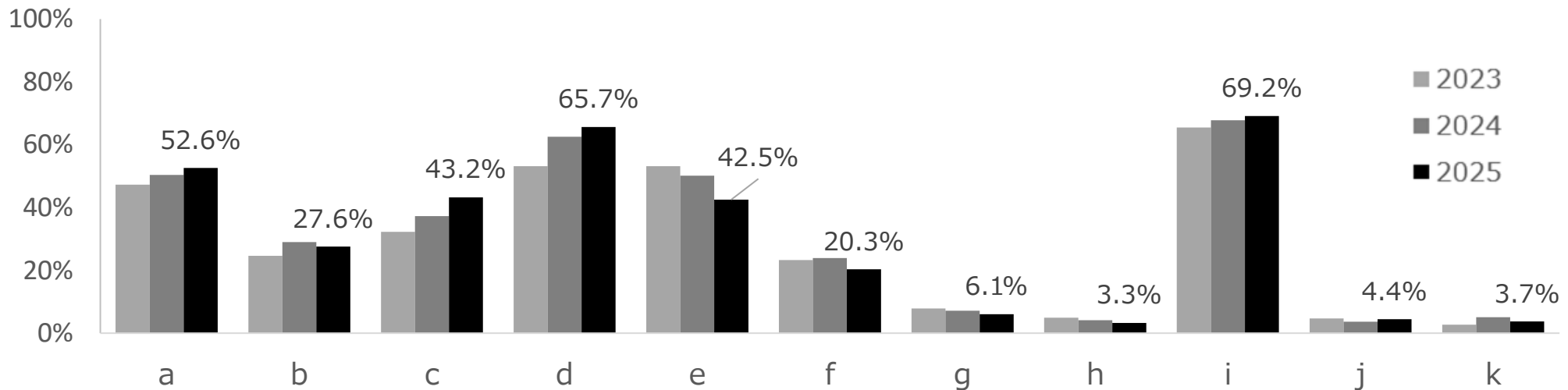
(回答数:2025年度:402,2024年度:401,2023年度:402)

「その他」の回答例：役員会で報告する機会を設けている/重要な示唆について、随時取締役・執行役等経営陣に報告/投資家との面談記録を都度経営陣に送付/IR面談の議事録を回覧/投資家との対話内容を社内でアーカイブしている/不定期で経営陣が投資家対話を行い、必要に応じて経営陣内に共有/IR担当者が重要と感じたことはすぐにマネジメントにレポート/経営トップはもちろん、その他マネジメントメンバー（社外取締役含む）が積極的に投資家と対話を行っている

Q5.投資家との対話についてお伺いします。

(3) 機関投資家との対話内容を踏まえ、何らかのアクションを取った論点、もしくは自社の改善策等の参考にした論点をお答えください。(複数選択可)

- a. 経営戦略・事業戦略
- b. 収益性
- c. 財務戦略
- d. 株主還元
- e. サステナビリティ（環境・社会・ガバナンス等の課題）
- f. 社外取締役の実効性向上（社外取締役に期待される役割等を含む）
- g. 買収防衛策
- h. 不祥事等の対応
- i. 情報開示
- j. その他
- k. アクションを起こしていない



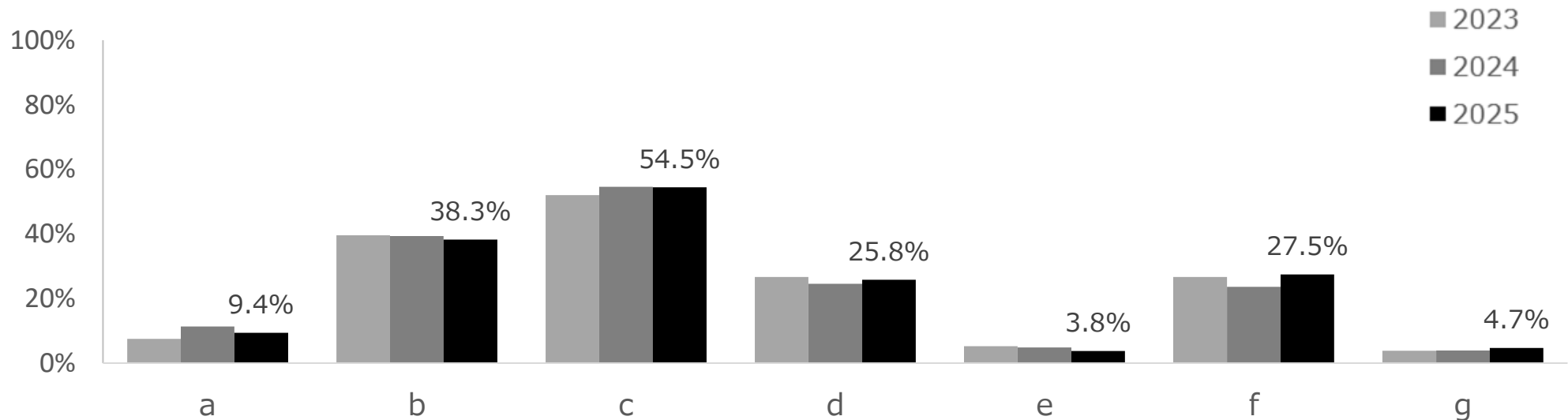
(回答数:2025年度:428,2024年度:435,2023年度:446)

「その他」の回答例： IRイベント、投資家向け見学会の開催/コーポレート・ガバナンスの強化等/ESGへの取組/KPIの指標/PBR1倍割れの対応/株主総会に上程する議案策定/株主総会における報告内容の検討にあたり、機関投資家の関心事、着眼点を参考/政策保有株式の縮減/決算説明会実施日の早期化/自社の資本コストのギャップ確認/長期間在任していた社外取締役の交代/役員報酬制度の見直し/中期経営計画の開示/事業ポートフォリオの再構築

Q5.投資家との対話についてお伺いします。

(4) 対話において投資家に対して感じる課題についてお答えください。(3つまで選択可)

- a. 対話関係のリソースや人材が不足
- b. 企業に対する分析や理解が浅い(対話内容が形式的)
- c. 短期的な視点・テーマのみに基づく対話の実施
- d. 対話目的等の説明が不足(保有方針、議決権行使方針、対話の位置づけ、対話後のプロセス等)
- e. 対話担当者の対話スキルが不足
- f. 特段なし
- g. その他



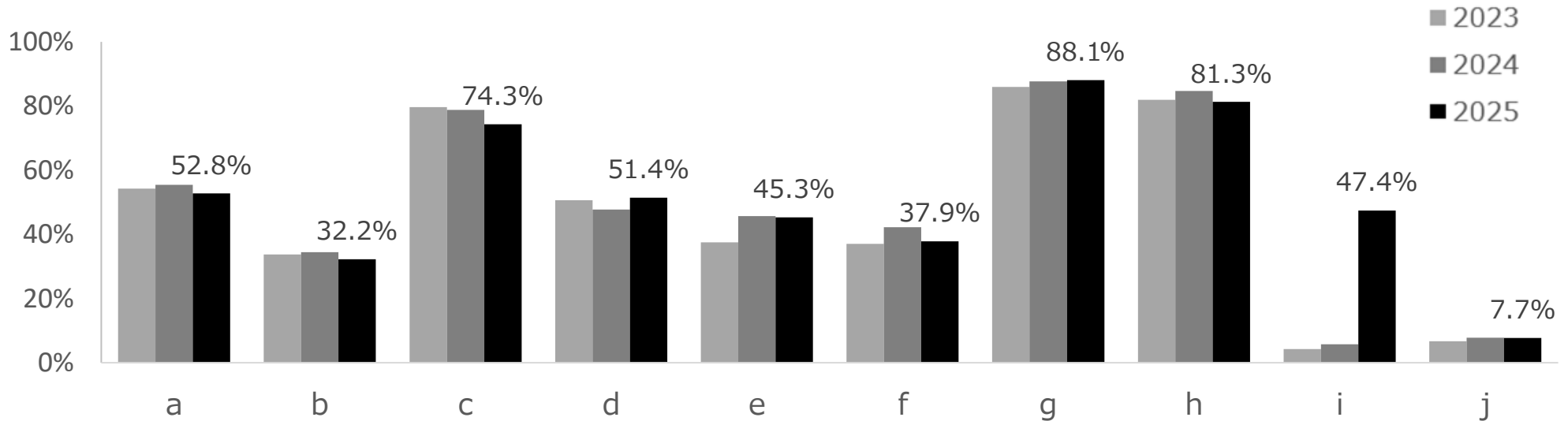
(回答数:2025年度:426,2024年度:432,2023年度:442)

「その他」の回答例: 投資規模が相対的に小さい、あるいは人員が少ない投資家では対話リソースが少ない/企業側に対する一方的な提案や要求/初めてミーティングの機会を持つ投資家に対しては、当社から投資方針を確認することで有効なミーティングを行いたい/サステナビリティ情報の適切な活用/議決権行使ポリシーに基づいた機械的な議決権行使/対話対応者の変更が多い/チェックリスト的な対話となり、実質的な議論が進まない/当社グループの企業価値向上に向けた考え方に対する理解の不足/同投資家内で複数の人間がそれぞれ取材を行い、取材内容が共有されていない/株主を名乗る投資家の保有状況が分からない、裏付けが取れない/将来の情報に探りを入れてくる/ESG面談が形式的

Q6.株主総会についてお伺いします。

(1) 株主の議決権行使を充実させるために、どのようなことに取り組んでいますか（今後の予定も含む）。
(複数選択可)

- a. 集中日を回避した株主総会の開催
- b. ハイブリッド型バーチャル総会の開催
- c. 招集通知の早期発送（早期開示）
- d. 議案の説明充実
- e. 経営戦略の説明充実
- f. サステナビリティ（環境・社会・ガバナンス等の課題）取り組みについての説明充実
- g. インターネットによる議決権投票
- h. 議決権電子行使プラットフォームへの参加
- i. 有価証券報告書の早期開示
- j. その他



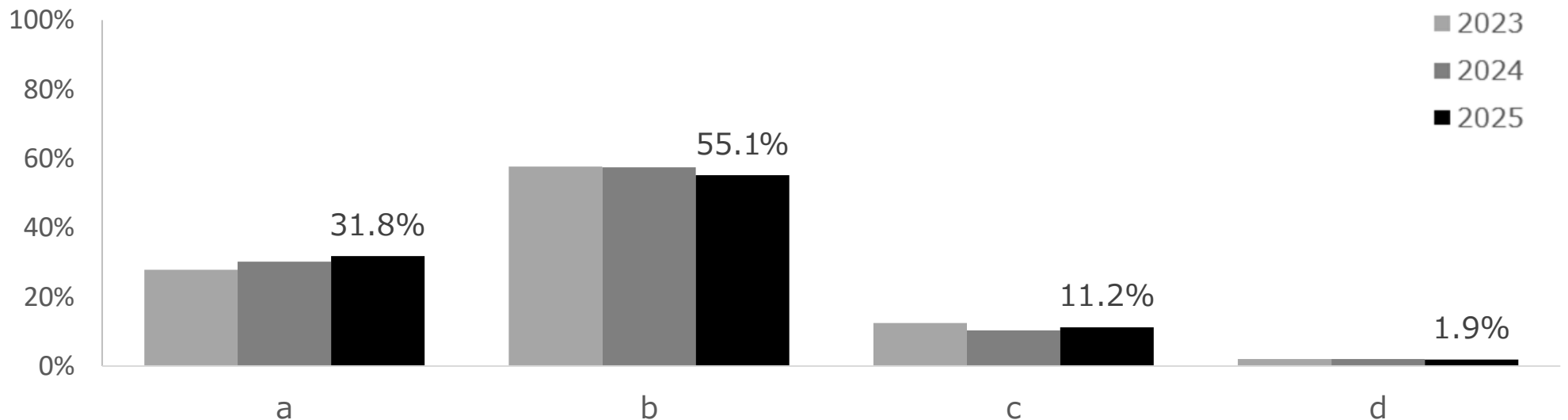
(回答数:2025年度:428,2024年度:438,2023年度:448)

「その他」の回答例：英文招集通知の開示/株主優待継続等の施策/繁忙期を外したSR面談の実施/株主総会録画映像および説明資料のホームページでの開示/招集通知の発送前Web開示/バーチャルオンリー総会の実施/議案の早期リリースと事前の機関投資家面談/事前質問の受付/「スマート行使」の導入/招集通知のサマリー版送付/株主総会での製品展示会や工場見学への招待/事業報告に関する動画をホームページ上で公開/スマートフォンによる議決権行使の採用

Q6.株主総会についてお伺いします。

(2) ① 投資家に対し、個別議案の説明を十分に行っていますか。(1つのみ選択可)

- a. 十分に説明している
- b. 一定程度説明している
- c. あまり十分とは言えない
- d. 説明は不十分

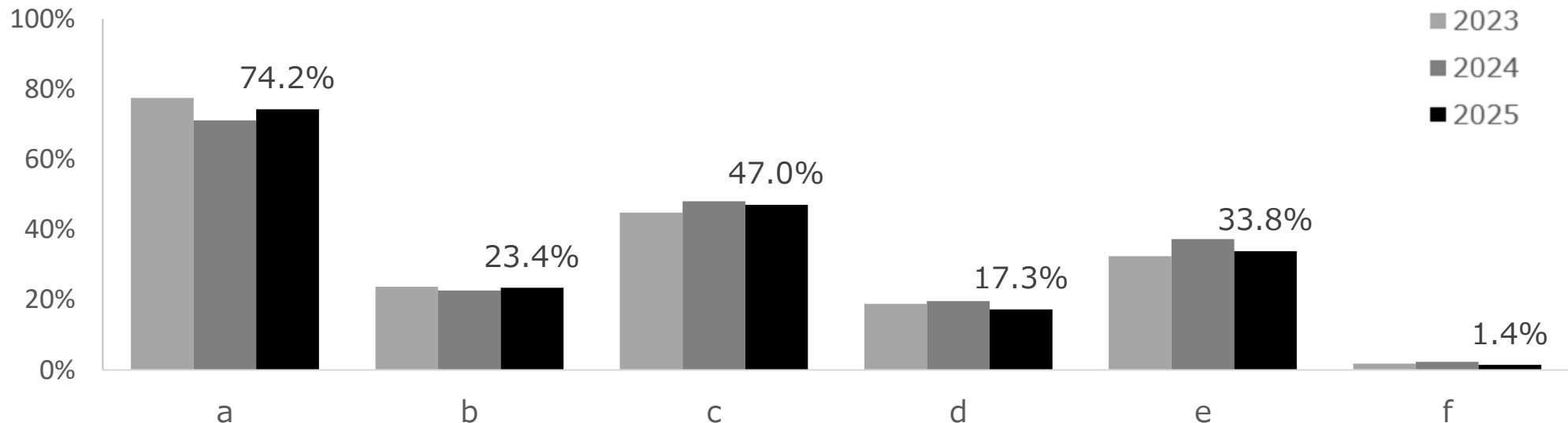


(回答数:2025年度:428,2024年度:437,2023年度:442)

Q6.株主総会についてお伺いします。

(2) ② 投資家に対し、議案の説明充実に向けて、重点的に取り組まれているものをお答えください。
(3つまで選択可)

- a. 招集通知の議案内容の説明充実
- b. 総会前の議案の事前説明の実施・充実
- c. 対話を通じた継続的なスタンスの説明
- d. ホームページ等を活用した議案の説明
- e. 総会当日における説明充実
- f. その他



回答数:2025年度:423,2024年度:429,2023年度:435)

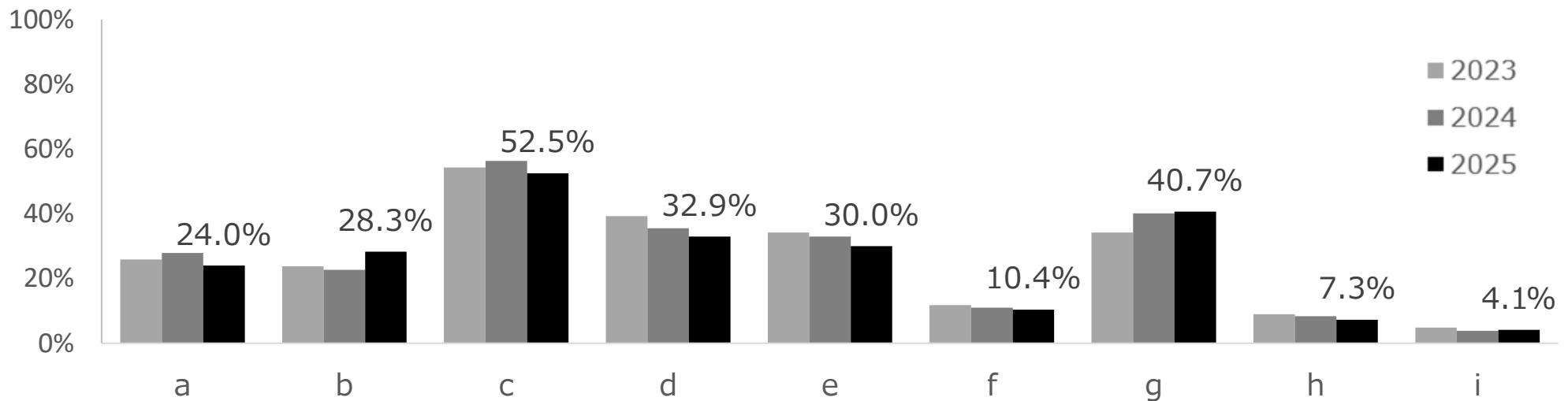
「その他」の回答例：社長による議案内容の説明動画の制作・自社HPでの公開/議案に応じたSR活動

Q6.株主総会についてお伺いします。

(3) 投資家の議決権行使に関して課題と感じており、改善を期待することは何ですか。

(3つまで選択可)

- a. 議決権行使基準の開示の充実
- b. 議決権行使に関する対話の充実
- c. 対話等により個別企業の実態を踏まえた議決権行使の実施
- d. 自社への議決権行使賛否理由の説明
- e. 議決権行使結果の開示の充実（賛否理由の開示を含む）
- f. 議決権行使助言会社の適切な活用
- g. 中長期的な視点での議決権行使の実施
- h. 対話内容と議決権行使判断の整合
- i. その他



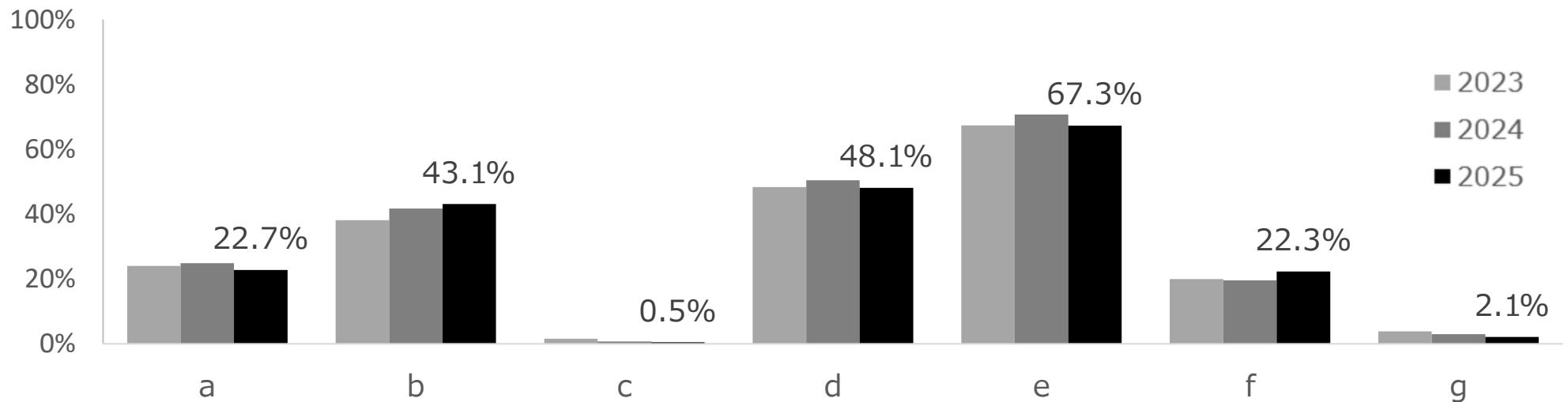
(回答数:2025年度:413,2024年度:419,2023年度:433)

「その他」の回答例：業界の特性等も十分に考慮した上での行使/形式基準の一律適用/実質株主確認制度の整備/スチュワードシップコードに賛同している、ホームページに議決権行使結果の開示が見当たらない投資家は少なくない

Q6.株主総会についてお伺いします。

(4) 過年度に反対の多かった議案に対して、どのような取り組みを実施していますか。(複数選択可)

- a. 招集通知書への説明充実
- b. 投資家との対話
- c. 議案の修正・取り下げ
- d. 反対株主の分析
- e. 反対理由の分析
- f. 特段なし
- g. その他



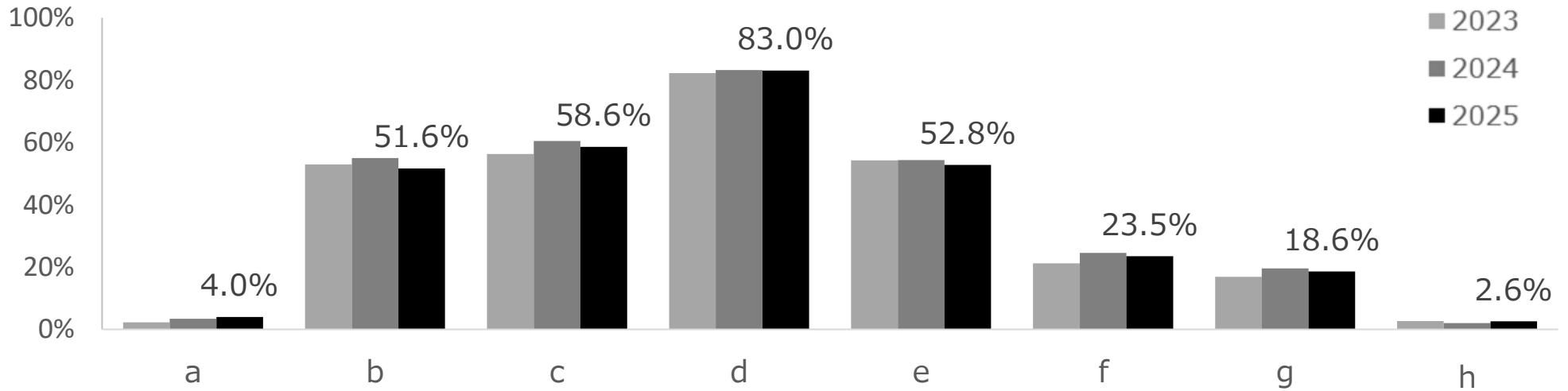
(回答数:2025年度:422,2024年度:434,2023年度:441)

「その他」の回答例：反対票の多かった議案に関して、取締役会で要因分析を行い対応策を検討、その結果概要を自社IRサイトにて公表/議決権行使助言会社との対話/議決権行使助言会社に対する反駁レターの開示/コーポレートガバナンス報告書にて、反対理由の分析と今後の対応について報告

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(1) ①サステナビリティへの取り組みをいずれの経営方針等に組み込んでいますか。（複数選択可）

- a. 定款
- b. 経営理念
- c. 行動指針
- d. 中期経営計画
- e. CSR方針
- f. 内部統制方針
- g. その他
- h. いずれの方針にも組み込んでいない



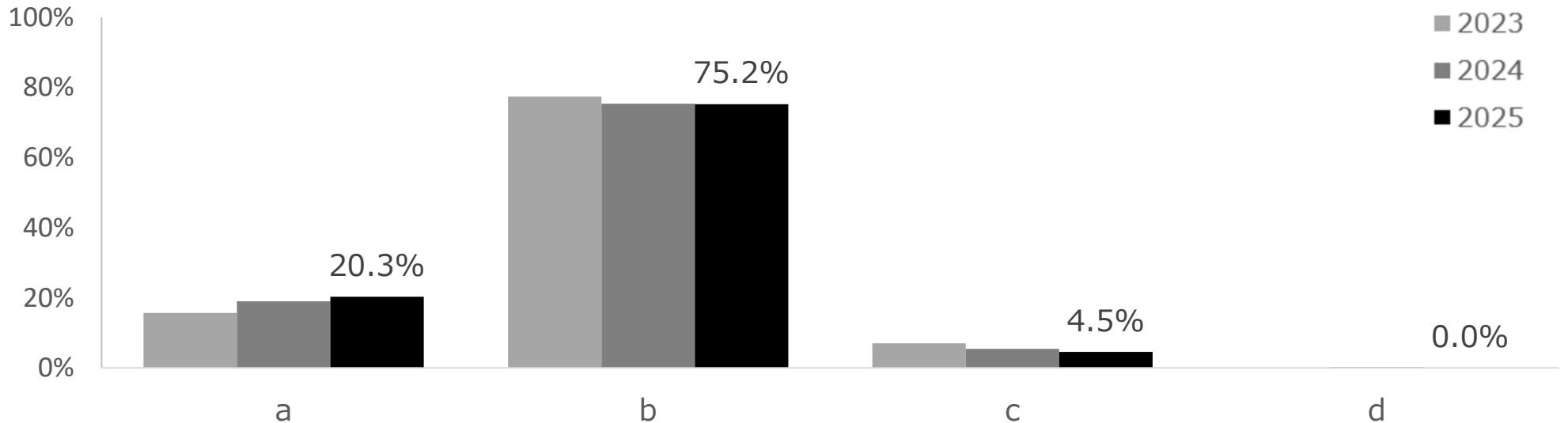
(回答数:2025年度:430,2024年度:440,2023年度:444)

「その他」の回答例：コーポレートガバナンス・ガイドライン/サステナビリティ基本方針/長期ビジョン/企業の社会的責任に関する基本声明等/環境ビジョン/人権方針/サプライチェーン行動方針/ステートメント/企業理念/CSR重要課題（マテリアリティ）/グループ行動規範/価値創造ストーリー

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(1) ② ①でh以外を選択された企業にお伺いします。自社の持続的成長の実現、企業価値の向上の観点を踏まえ、経営方針等に組み込んだサステナビリティの各課題の解決に向けた取組の進捗状況をお聞かせください。（1つのみ選択）

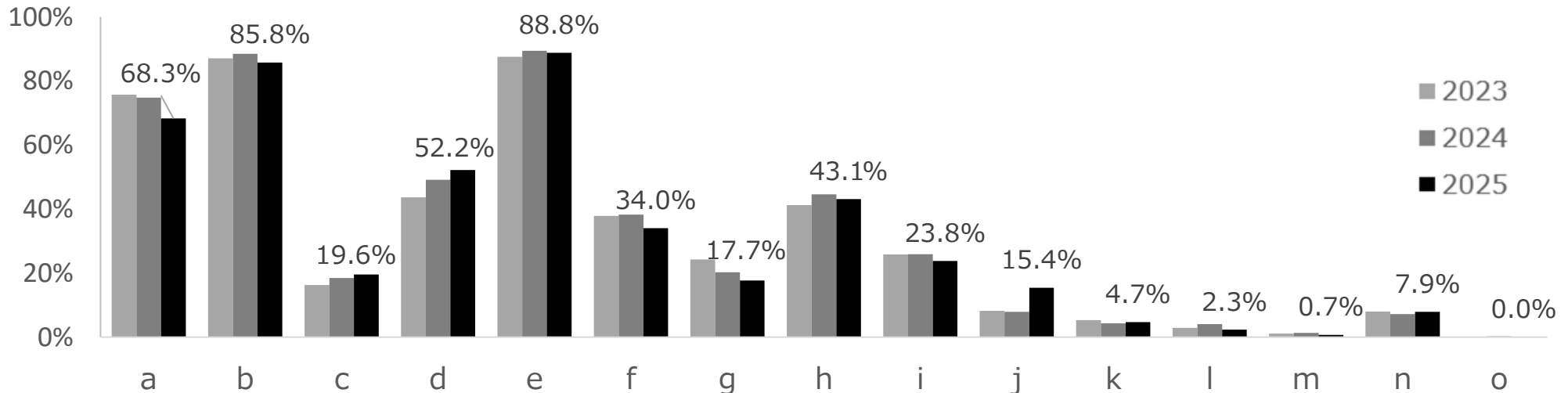
- a. 十分に取組が進捗している
- b. 一定程度取組が進捗している
- c. あまり取組が進捗していない
- d. 全く取組が進捗していない



Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(2) 自社のサステナビリティへの取り組みにおける主要テーマをお答えください。（5つまで選択可）

- a. コーポレートガバナンス
- b. 気候変動
- c. 生物多様性・自然資本
- d. 人権尊重
- e. 人的資本（ダイバーシティ含む）
- f. 地域社会への貢献
- g. 働き方改革
- h. 従業員の健康と安全
- i. 製品サービスの安全
- j. DX経営（サイバーセキュリティを含む）
- k. 食の持続可能性（フードロス含む）
- l. 不祥事
- m. 少数株主保護（政策保有等）
- n. その他
- o. サステナビリティへの取り組みを行っていない



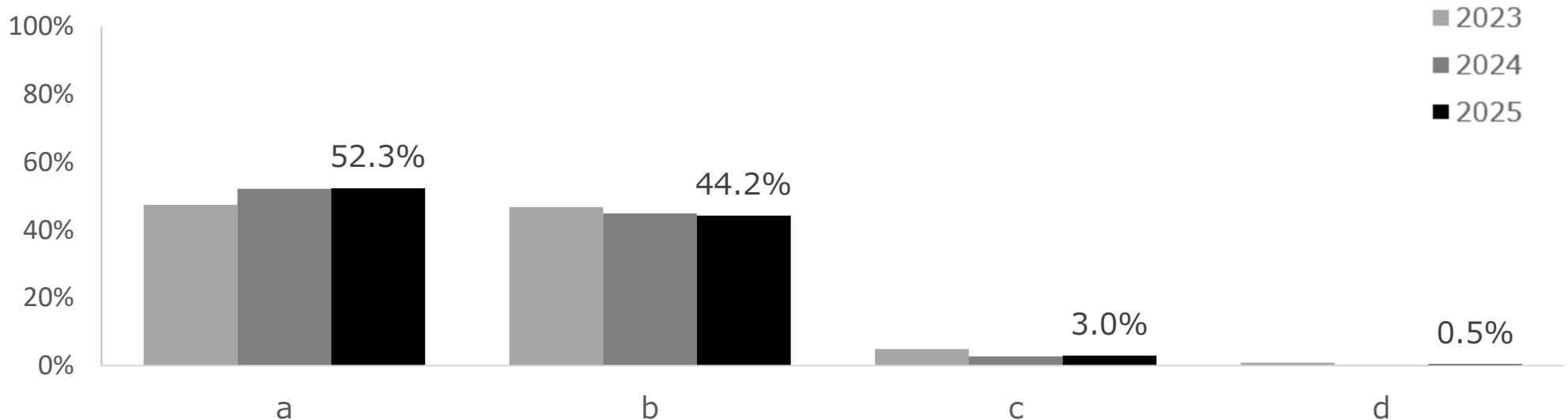
(回答数:2025年度:429,2024年度:444,2023年度:449)

「その他」の回答例：グローバルな衛生課題の解決/企業倫理/先端技術の活用と多様なパートナーシップによるイノベーション創出/害に強く、安全・安心で持続可能な社会的インフラサービスの提供/サプライチェーン管理/汚染と資源/水資源・水使用/栄養課題・健康課題への取り組み/資源循環型社会の実現/公正な事業活/プラスチック資源循環/リスクマネジメント/コンプライアンス

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(3) サステナビリティへの取り組みについて情報を開示していますか。（1つのみ選択可）

- a. 十分開示している
- b. 一定程度開示している
- c. あまり開示していない
- d. 開示していない

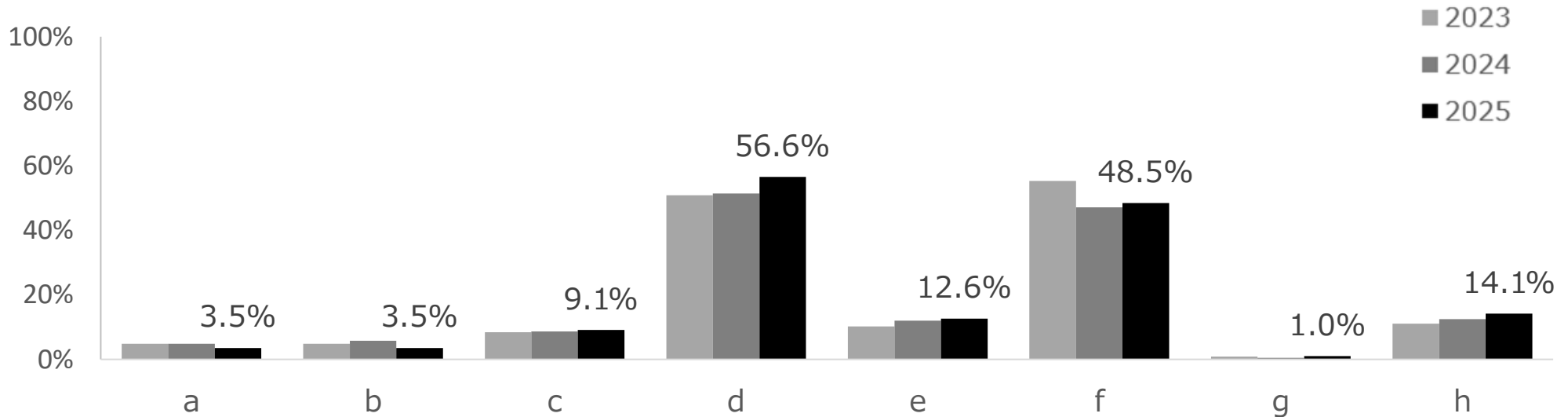


(回答数:2025年度:434,2024年度:441,2023年度:447)

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(4) (3) でb・c・dを選択された企業にお伺いします。サステナビリティへの取り組みについて情報開示が十分にできない理由についてお答えください。（2つまで選択可）

- a. 適切な情報開示手段がわからない
- b. 自社にとって重要なサステナビリティ課題を特定できていない
- c. 投資家の求める情報がわからない
- d. 対応人員の不足
- e. 予算の制約
- f. サステナビリティ取り組み内容が情報開示するレベルに達していない
- g. 情報開示の必要性を感じない
- h. その他



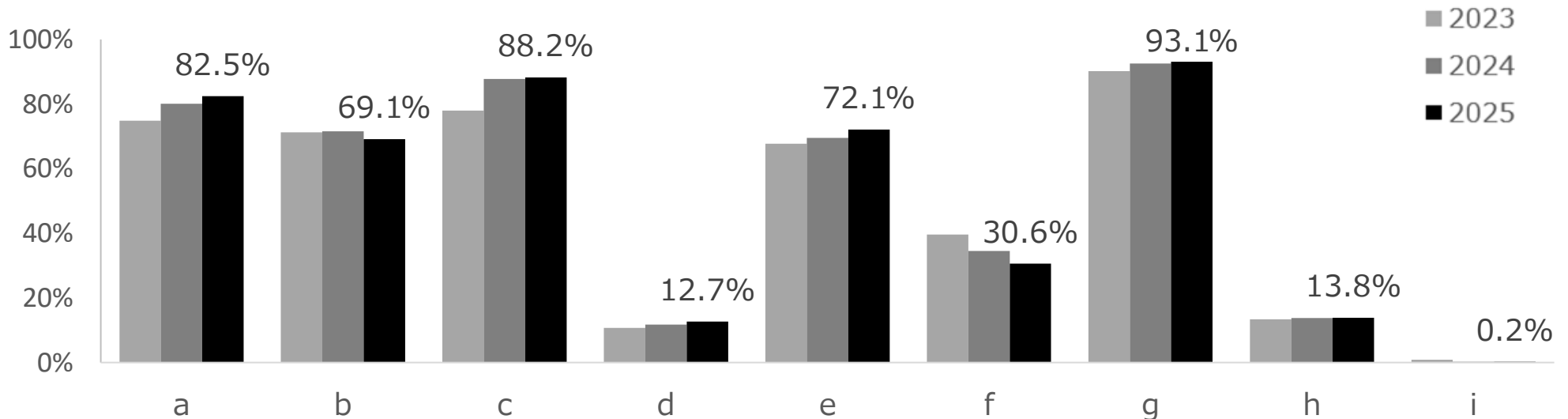
(回答数:2025年度:198,2024年度:208,2023年度:226)

「その他」の回答例：グループで統一した情報開示の難しさ/開示要求事項の変化（高度化）が早く対応が難しい、リソースが追いついていない/評価機関の乱立、開示基準が不明確

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(5) サステナビリティへの取り組みについて情報を開示している媒体をお答えください。（複数選択可）

- a. 統合報告書
- b. IR説明会資料
- c. 有価証券報告書
- d. 決算短信
- e. コーポレート・ガバナンス報告書
- f. CSRレポート・サステナビリティレポート
- g. ホームページ
- h. その他
- i. 開示していない



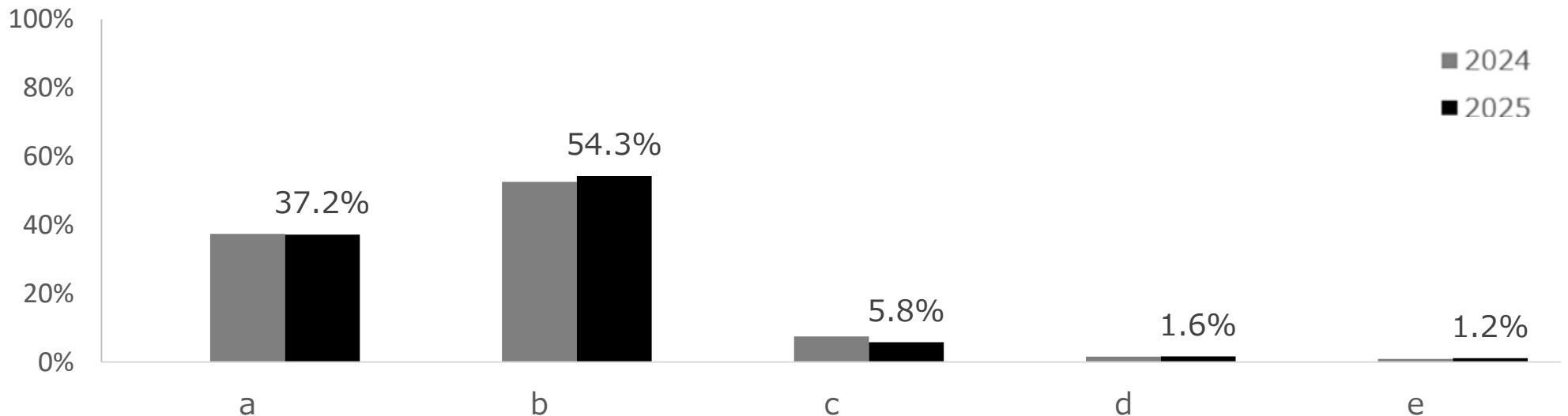
(回答数:2025年度:434,2024年度:443,2023年度:449)

「その他」の回答例：株主総会招集通知/ビジネスレポート（株主通信）/テレビCM/アニュアルレポート/ニュースリリース/SNS/会社案内/CDPIに回答

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(6) 自社のサステナビリティへの取り組みは中期経営計画等に掲げる企業価値向上に向けた経営戦略と十分に連動していると考えていますか。（1つのみ選択）

- a. 十分連動している
- b. 一定程度連動している
- c. あまり連動していない
- d. ほとんど連動していない
- e. 経営方針等に組み込んでいない

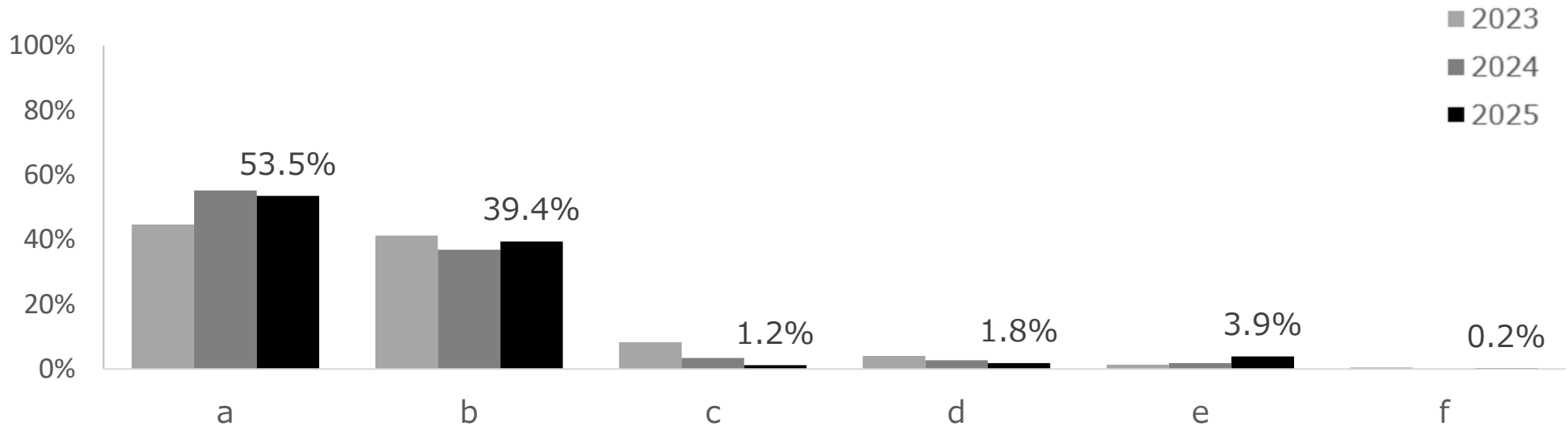


(回答数:2025年度:433,2024年度:441)

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(7) TCFDに基づく気候変動関連情報の開示を実施していますか。（1つのみ選択可）

- a. 既に十分な開示をしている（定性分析に加えて、定量分析を実施）
- b. 既に一定程度の開示はしている（定量分析はできていないが、定性分析は実施）
- c. 現在、開示に向けて検討中
- d. 今後、開示に向けて検討する予定
- e. 現在、開示する予定はない
- f. TCFDについてよく知らない



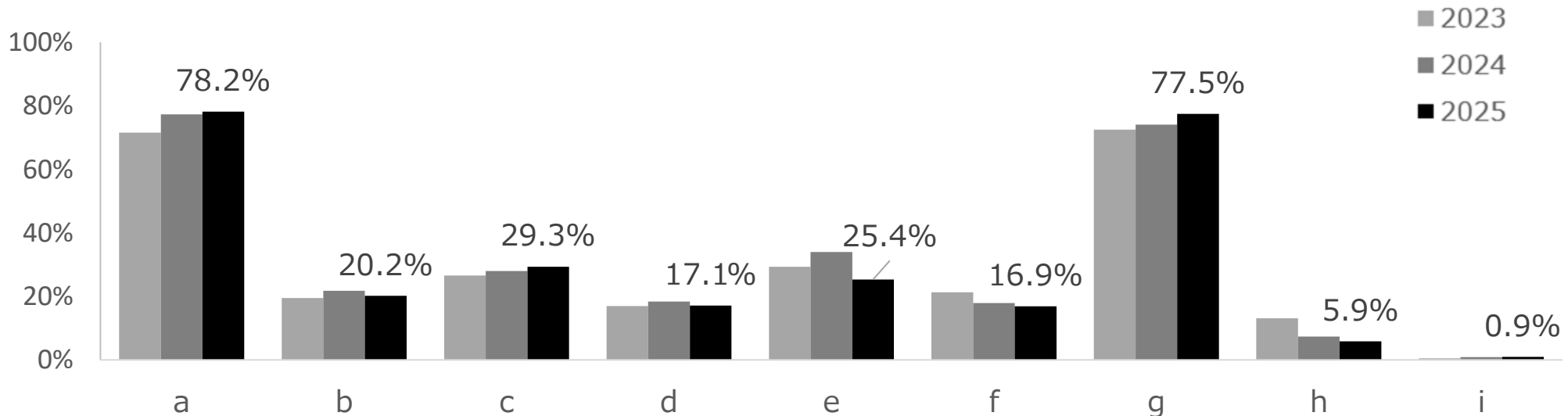
(回答数:2025年度:434,2024年度:442,2023年度:446)

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(8) 人的資本経営の実現のため、重視するテーマをお答えください。（3つまで選択可）

※項目については経済産業省『人材版伊藤レポート2.0』を参照

- a. 経営戦略と人材戦略を連動させる取組
- b. 人材に関するKPIを用いた「As is-to beギャップ（現状とあるべき姿のギャップ）」についての定量把握
- c. 企業文化への定着のための取組
- d. 動的な人材ポートフォリオ計画の策定と運用
- e. 知・経験のダイバーシティ&インクルージョンのための取組
- f. リスキル・学び直しのための取組
- g. 社員エンゲージメントを高めるための取組
- h. 時間や場所にとらわれない働き方を進めるための取組
- i. その他



(回答数:2025年度:426,2024年度:436,2023年度:436)

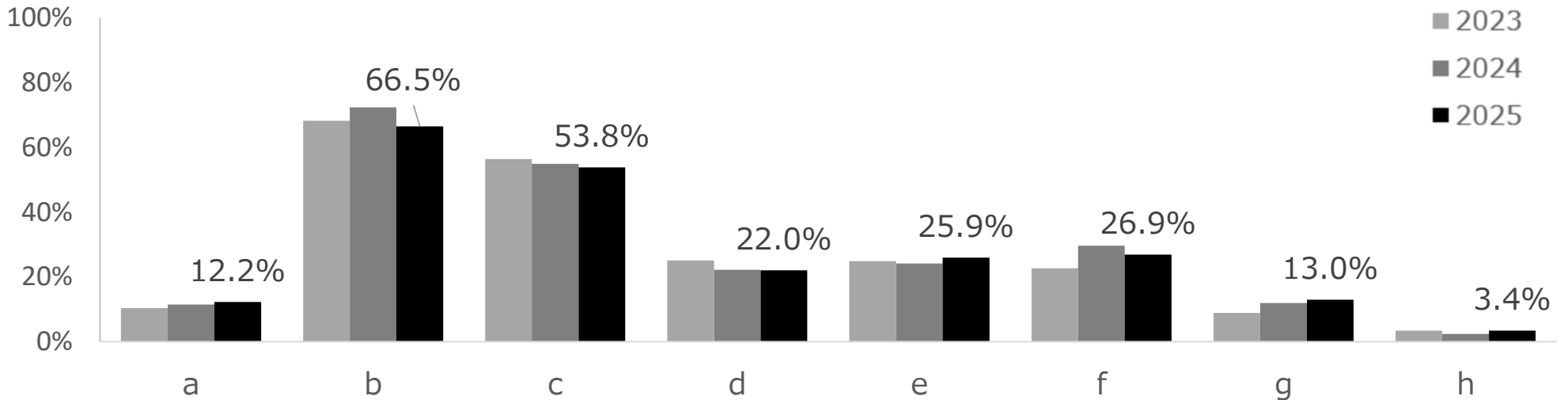
「その他」の回答例：人材能力の把握と適材適所な配置/多様な人材の獲得/ありたい人材像の実現に向けた重点施策の実行

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(9) 経営戦略と人材戦略を連動させるために重視している取組をお答えください。（3つまで選択可）

※項目については経済産業省『人材版伊藤レポート2.0』を参照

- a. CHRO（最高人事責任者）の設置
- b. 全社的経営課題の抽出（経営戦略実現の障害となる人材面の課題の整理等）
- c. KPIの設定、背景・理由の説明
- d. 人事と事業の両部門の役割分担の検証、人事部門のケイパビリティ向上
- e. サクセッションプランの具体的プログラム化
- f. 指名委員会委員長への社外取締役の登用
- g. 役員報酬への人材に関するKPIの反映
- h. その他



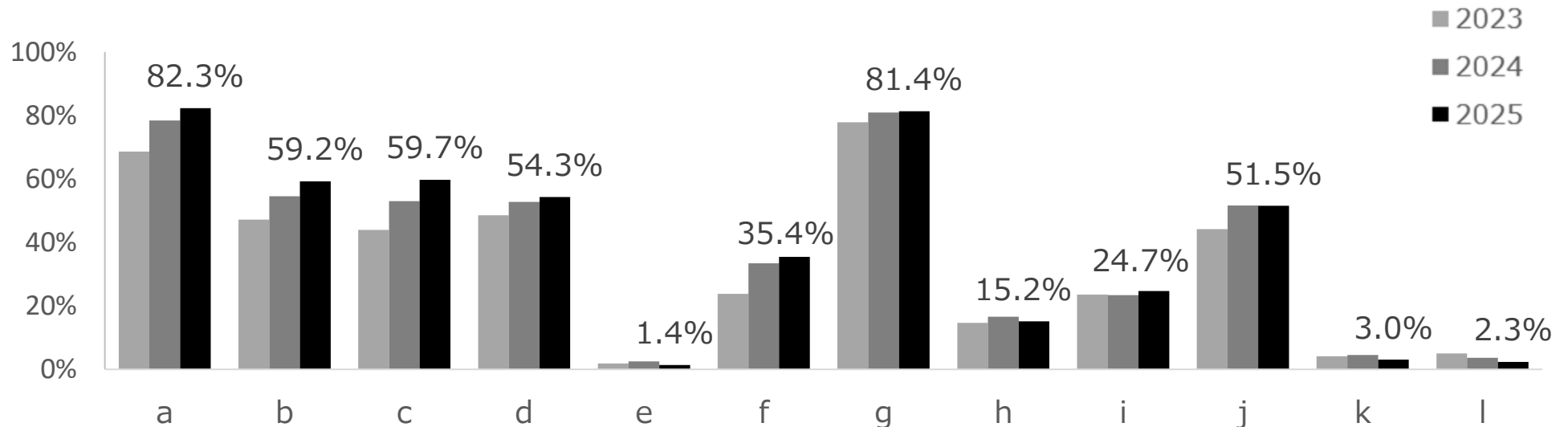
(回答数:2025年度:409,2024年度:419,2023年度:415)

「その他」の回答例：給与報酬体系の見直し/経営戦略に紐づく人事制度等の全社方針を社内外に開示/人事専門部門の設置/経営戦略部門と人事総務部門との連携/事業ポートフォリオと連動した人材ポートフォリオ策定

Q7. 環境 (E) ・社会 (S) ・ガバナンス (G) (以下、「サステナビリティ」) への取り組みについてお伺いします。

(10) 人権尊重に向けた取り組みについて、既に実行されているものをお答えください。(複数選択可)

- a. 人権方針の策定
- b. 人権責任を果たすためのガバナンス・組織体制の整備
- c. 人権デューデリジェンスの実施
- d. サプライチェーン管理の強化
- e. サプライヤー（取引先）リストの公開
- f. 救済メカニズム（グリーンバンスメカニズム）の構築
- g. 従業員への教育・研修の強化
- h. 人権NGO等とのエンゲージメント・連携強化
- i. 投資家とのエンゲージメント・連携強化
- j. 人権取り組みに関する情報開示の充実
- k. その他
- l. 現在、対応している取り組みはない



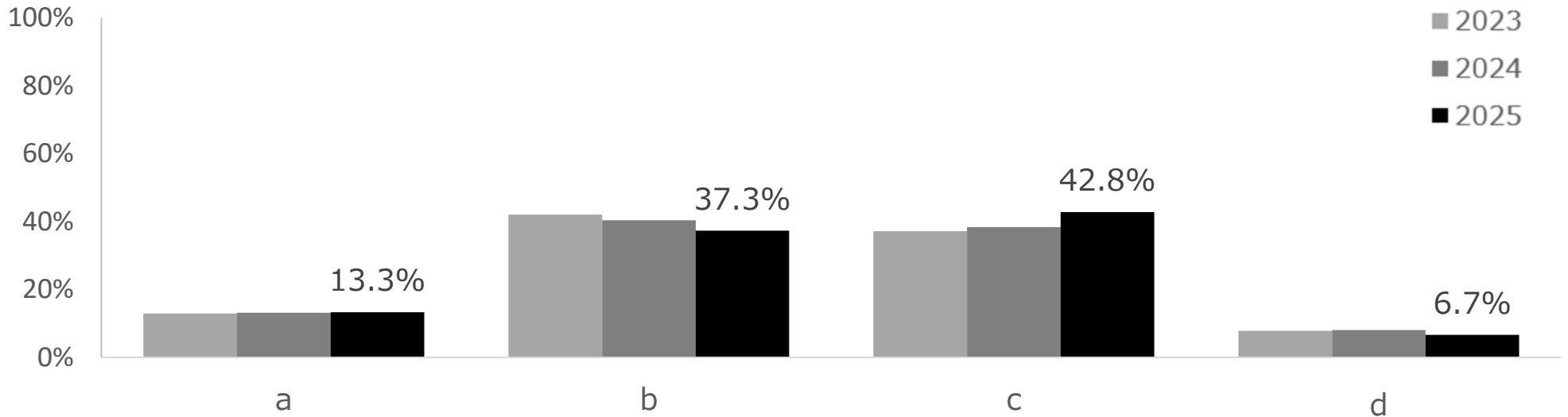
(回答数:2025年度:429,2024年度:440,2023年度:437)

「その他」の回答例：取引先とのエンゲージメント、連携強化/他企業との人権に関する協議会を定期的実施/国連グローバル・コンパクトへの参加

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(11) 生物多様性・自然資本のテーマが企業の活動に与える影響について、現時点でのお考えに近いものをお答えください。（1つのみ選択可）

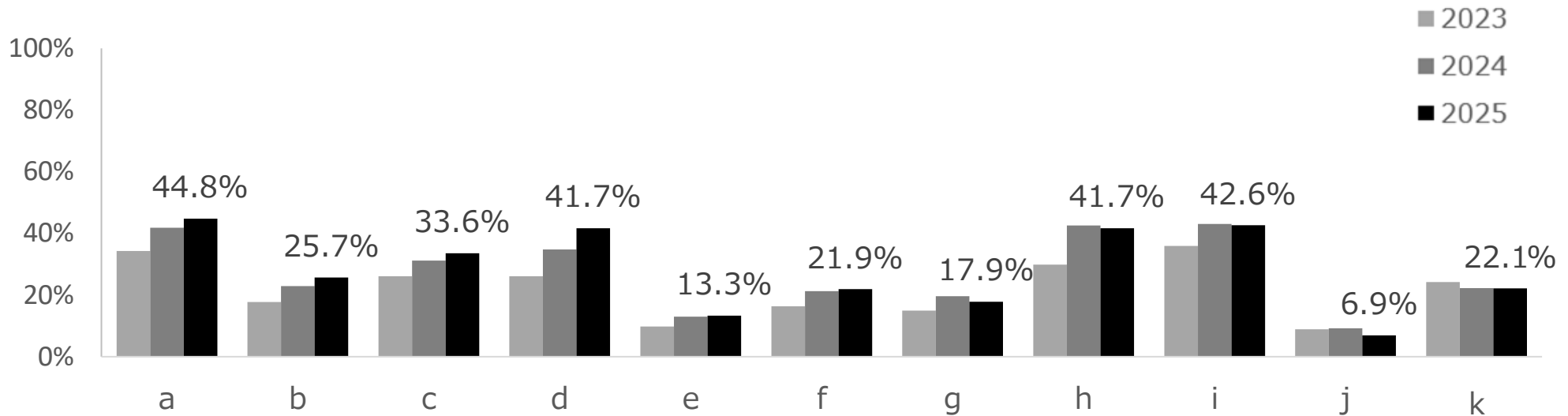
- a. 自社の活動に既に大きな影響を与えている
- b. 自社の活動に与える影響は現時点では大きくないが、将来的な影響は大きい
- c. 自社の活動に与える影響は現時点で小さくなく、将来的にも限定的
- d. よくわからない



Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(12) 生物多様性・自然資本の保全・対応に向けた取り組みについて、既に実行されているものをお答えください。（複数選択可）

- a. 方針・戦略の策定・開示
- b. （具体的な）目標の策定・開示
- c. 組織体制の整備
- d. リスク・機会の分析
- e. 自社へ与える影響に関する取締役会での議論、事業戦略への反映
- f. 取引先・サプライチェーンとの連携強化
- g. 環境NGO等とのエンゲージメント・連携強化
- h. 情報開示の拡充
- i. 社内理解の促進
- j. その他
- k. 現在、対応している取り組みはない



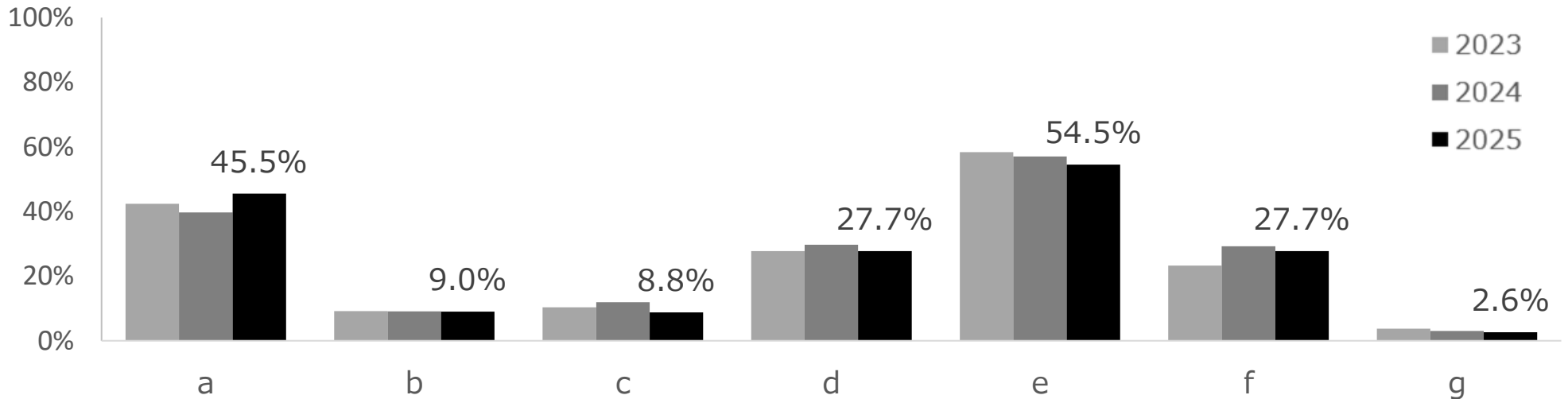
(回答数:2025年度:420,2024年度:423,2023年度:429)

「その他」の回答例：自然共生社会を実現するための人材育成/製品開発/ TNFDフォーラムへの参画/生物多様性のための30by30アライアンスへの参画/ネイチャーポジティブ宣言の策定/環境省等主催のセミナー参加/禁止物質および管理物質等の製品含有化学物質の管理/イニシアティブへの参画等を通じた情報収集/経団連自然保護協議会への加盟

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(13) サステナビリティへの取り組みを推進するにあたって行政に期待することは何ですか。
(2つまで選択可)

- a. 情報開示のサポート
- b. モデル企業の選定、表彰制度
- c. 相談窓口の設置
- d. 関連政策の立案における省庁間の連携強化
- e. ガイドライン等の複線化防止に向けた対応
- f. 他国・国際機関（国際的イニシアティブを含む）への働きかけによる国際的な枠組み等への意見反映
- g. その他



(回答数:2025年度:422,2024年度:428,2023年度:425)

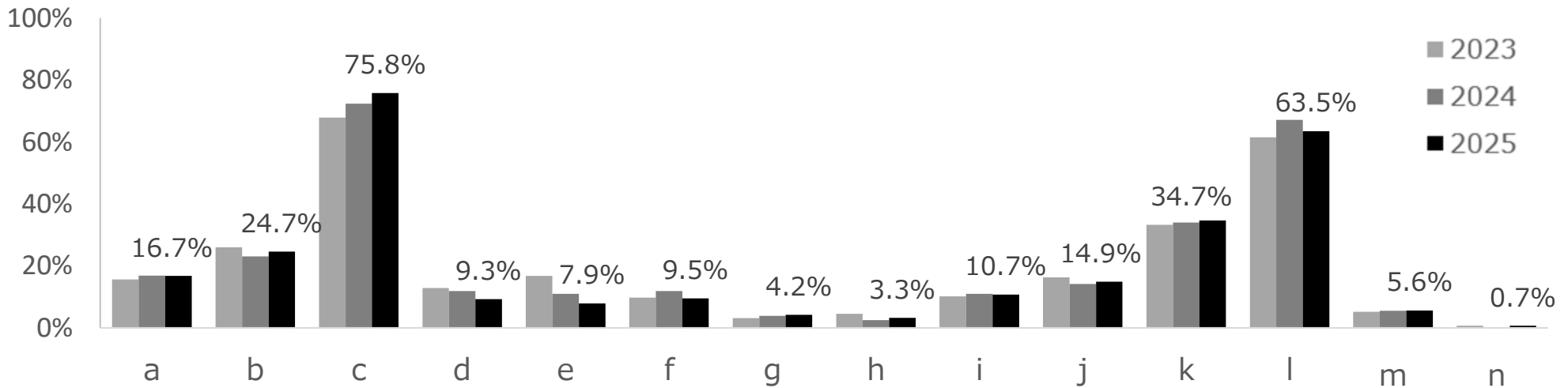
「その他」の回答例： ESG評価ポイントの確立/優良企業に対するインセンティブの供与/税制等の優遇措置/各種申請窓口、申請方法の利便性向上/国全体としての定量的な効果測定と公表

Q7. 環境 (E) ・社会 (S) ・ガバナンス (G) (以下、「サステナビリティ」) への取り組みについてお伺いします。

(14) 中長期にわたり持続的な成長を実現するために今後重視する取り組みをお答えください。

(3つまで選択可)

- a. 事業の多角化
- b. ビジネスモデルの転換
- c. 事業の収益性改善
- d. 雇用形態の多様化 (中途採用の強化、ジョブ型雇用、時間限定正社員等)
- e. 働き方改革の推進 (テレワーク・会議や営業活動のオンライン化等)
- f. BCP (事業継続計画) の策定・強化
- g. 資金調達手段の多様化
- h. 資本増強・内部留保の拡充
- i. 不採算事業の整理・撤退
- j. サプライチェーン管理の強化
- k. 研究開発の更なる促進
- l. 社内の人材育成強化
- m. その他
- n. 特にない・わからない



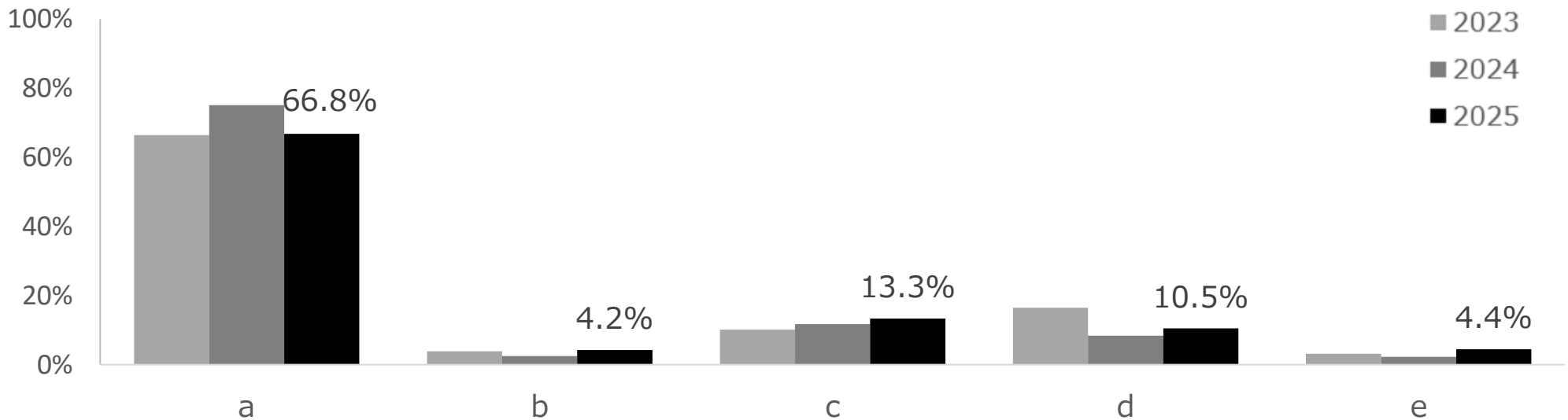
(回答数:2025年度:430,2024年度:438,2023年度:442)

「その他」の回答例: グループ内の経営資源の棚卸・共有/新規事業への投資 (M&A含む) /知的財産価値の最大化/事業間シナジーの創出/事業ポートフォリオの進化/事業ポートフォリオ見直し/人手をかけない会社経営/サステナビリティへの取り組み深化/経営基盤(ガバナンス)の強化/テクノロジー (AI) の活用/情報活用の高度化/企業理念の実現/環境および社会課題の解決を経営戦略の一体とらえた価値創造の実施/他社との協創/地球環境への貢献

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(15) 自社における「2050年カーボンニュートラル」の達成に向けた温室効果ガス削減目標について、お答えください。（1つのみ選択可）

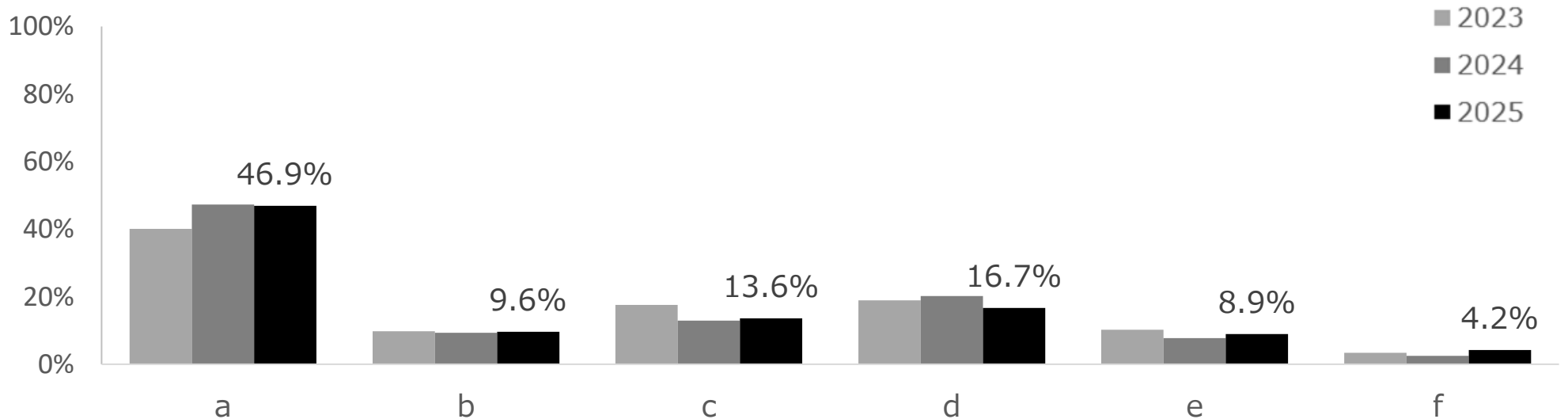
- a. 2050年カーボンニュートラル目標、および（2030年頃の）中間目標を策定して公表している
- b. （2030年頃の）中間目標は策定していないが、2050年カーボンニュートラル目標は策定して公表している
- c. 2050年カーボンニュートラル目標は策定していないが、（2030年頃の）中間目標は策定して公表している
- d. 具体的な目標は策定していないが、対応を検討している
- e. 現在、目標を策定する予定はない



Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(16) 「2050年カーボンニュートラル」に向けた温室効果ガス排出量削減のロードマップの策定・開示状況について、お答えください。（1つのみ選択可）

- a. ロードマップを策定し、公表している
- b. ロードマップを策定しているが、公表していない
- c. ロードマップを策定中
- d. 現在、対応を検討中
- e. 今後、対応を検討する予定
- f. 現在、対応する予定はない

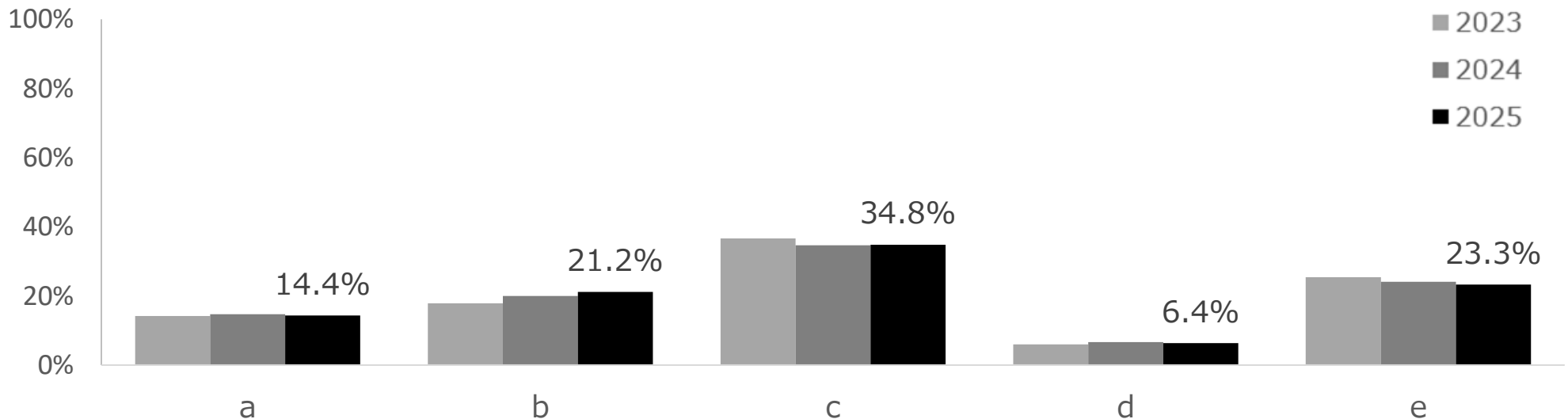


(回答数:2025年度:426,2024年度:440,2023年度:439)

Q7. 環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）（以下、「サステナビリティ」）への取り組みについてお伺いします。

(17) 自社における「2050年カーボンニュートラル」の達成可能性について、現時点でのお考えに近いものをお答えください。（1つのみ選択可）

- a. 達成できる可能性は高い
- b. 達成できる可能性はやや高い
- c. 達成に向けて課題が多く、やや達成が見通し難い
- d. 達成に向けて課題が非常に多く、達成が見通し難い
- e. 達成可能性を判断できる段階にない



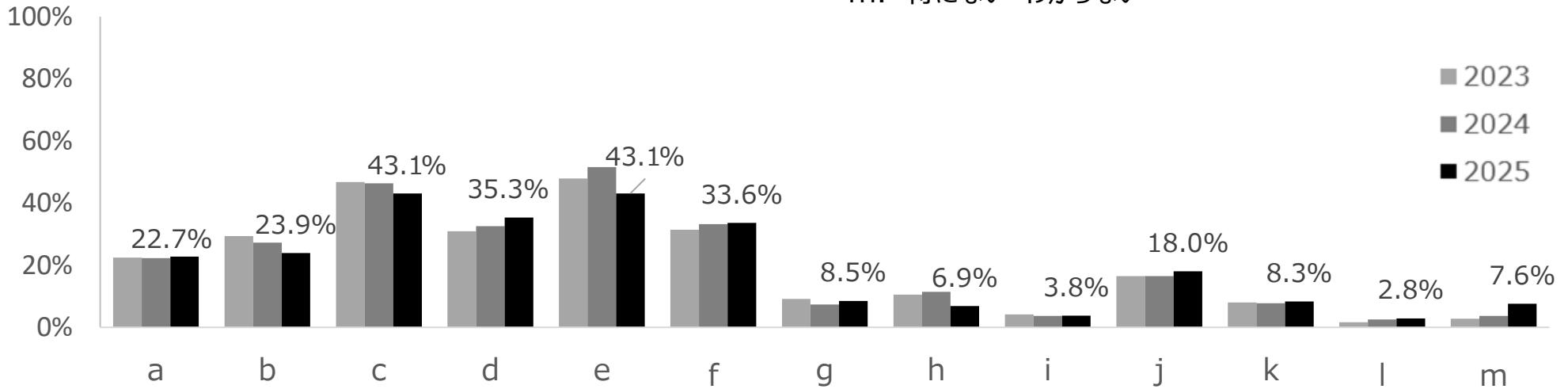
(回答数:2025年度:425,2024年度:436,2023年度:437)

Q7. 環境 (E) ・社会 (S) ・ガバナンス (G) (以下、「サステナビリティ」) への取り組みについてお伺いします。

(18) 「2050年カーボンニュートラル」の達成に向けて、行政に期待することは何ですか。

(3つまで選択可)

- a. 省庁横断的な政策の推進
- b. 具体的なロードマップの策定
- c. 再エネを中心とするエネルギー政策の提示
- d. 次世代エネルギーのサプライチェーン構築 (水素・アンモニア等)
- e. 再エネ拡大を可能とするインフラの整備 (送配電網整備・規制緩和等)
- f. 革新的な技術開発に対する資金援助
- g. 高環境負荷産業の円滑な脱炭素化に向けた支援 (雇用維持・産業転換促進等)
- h. カーボンプライシング (炭素税、排出権取引等) の導入
- i. 投資家のグリーン投融資拡大に向けた制度設計
- j. カーボンニュートラルの必要性に対する国民の理解促進
- k. 他国・国際機関 (国際的イニシアティブを含む) との協力関係の強化
- l. その他
- m. 特にない・わからない



(回答数:2025年度:422,2024年度:436,2023年度:436)

「その他」の回答例: 中小企業を含めたScope1,2の開示・報告の義務化/再エネ活用等に向けた補助金等の充実/事業の予見性や継続性を高めるような需要創出に向けた取組/中小サプライヤーのカーボンニュートラル対応に対する資金等の支援/シナリオ分析を行う際のデータベースの整備/企業が使用する電力の再エネメニューの一般公開の推進やそのデータベースの構築/CO2削減コストの製品価格への適切な転嫁の支援/Scope3のカーボンニュートラル達成シナリオの策定と主導/Scope1・3に対応したカーボンクレジットの普及/ガソリン車の廃止に向けた国としてのロードマップの策定および実行/行政からの具体的なGHG排出削減に向けた指針の提示